

平成23年度報告

平成22年度

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、教育に関する事務が南部町教育施策の方針に基づいて適切に実施されているか点検するとともに、その成果及び課題等について自ら評価し、報告するものです。

南部町教育委員会

◆まえがき

南部町教育委員会では、「豊かで潤いのある生涯学習社会の形成に向けて、心身ともに健康で豊かな情操と優れた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努め、学習環境の整備に取り組んでいます。

こうした取り組みは、これまでも広報などを通じて町民の皆様にお知らせしてきたところですが、平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに公表することとされました。

このため、南部町教育委員会では、今後の効率的で効果的な教育行政を推進し、町民の皆様へ説明責任を果たすことを目的に外部の学識経験者などから意見を伺いながら、教育委員会の事務の点検及び評価を実施し、このたび、その結果を報告書としてまとめました。

南部町教育委員会では、今後も「個を生かし生きる力と学ぶ力や夢をはぐくむ学校教育の推進」「生きがいのある人生と、豊かで住み良い地域社会を実現する社会教育の推進」「未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用」を目指し、地域の伝統と特性を生かした教育行政の推進に努めて参りますので、町民の皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年3月

南部町教育委員会

点検評価アドバイザー(学識経験者)による意見

南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書を、南部町の教育方針、学校教育指導の方針と重点および社会教育指導の方針と重点にかんがみ、拝見したので、所見の一端を述べます。

はじめに、特記すべき事項として

1. 「特色ある学校づくり」として、町当局が厳しき財政事情にもかかわらず、町独自の支援を実施していること、教育にかける並々ならぬ心意気を感じる。
2. 度重なる教育改革や教育思潮から、「開かれた学校…」とか「特色ある学校づくり…」等への理解を一層深めることや変遷する学習指導要領から「不易と流行」を読みとり、「不易」なる事項への重点化と流行とのバランスを図ることが一層求められる。
3. 「子育ては社会総がかり」への啓発活動と「生涯学習社会」の具現化に一層努める。

具体的には、

1. 町民の声・ニーズをアンケート等の手法で収集し、事業のマンネリ化防止、事業のスリム化や重点化および運営等に生かしている。
2. 教育委員会内部における事業の狙い・目的等にかんがみ、統合化等がわずかながら進められている。事業数が多少減じている。

この事については、町当局における事業との重複などを吟味する必要がある。

3. 諸事業の開催時期については、一層の吟味が必要である。また、運営等については、高度な研究を要するものもあり、町当局との話し合いも必要と考える。
4. 各事業の広報活動と申し込みの簡易化の工夫が必要である。
5. 事業によっては、参加人数の減少による評価は、本来の狙い・目的を逸脱する可能性がある。活動内容等々をよく見届ける必要がある。
6. 「特色ある学校経営」について、学校教育の最大の責務、生きる力としての基礎学力の向上に果敢に挑戦している学校も見受けられる。
7. 「特色ある学校経営」について、「学校教育の最大の責務は何か？」を常に変遷する学習指導要領から、不易と流行を読みとることで、一目瞭然。不易なる「基礎学力の向上」を

最重点に、流行とのバランスを取る。それに見合う時間や経費を手当てしているかの視点を大事にする。ややもすれば、流行に目が奪われバランスを欠く傾向が無きにしも非ず、注意が必要である。

終わりに

1. 学校教育においては、各種の資料をもとに落ち込みへ、即、手を打ち、回復を目指すこと。この繰り返しこそ日々の教育活動である。低学力対策は必須事項である。
2. 学校教育と社会教育(家庭教育・企業内教育を含む)を連携することで、一層教育成果を高めることが可能であり、町内がいよいよ活気づく。さらなる発展が期待される。

南部町教育委員会の事務の点検評価アドバイザー

平 山 幹 雄

工 藤 光 行

目 次

○点検及び評価の概要	 P. 1
○点検及び評価のイメージ図	 P. 2
○南部町教育方針	 P. 3～9
1. 学校教育指導の方針と重点	 P. 3～6
2. 社会教育指導の方針と重点	 P. 7
3. 文化財保護行政の方針と重点	 P. 8
4. 学校給食重点目標	 P. 9
○教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧表	 P. 10～12
○事務事業毎個別評価の観点	 P. 13
○事務事業毎個別評価表	 P. 14～38
○平成22年度教育委員会活動の状況	 P. 39～42
1. 教育委員名簿	 P. 39
2. 教育委員会会議の状況	 P. 40～41
3. その他の活動	 P. 42
○教育委員会事務局の活動の状況	 P. 43～46
1. 教育委員会の事務局の組織の状況	 P. 43
2. 教育委員会の事務局の活動の状況	 P. 43～44
3. 教育施設の状況	 P. 45
4. 教育関係予算の状況	 P. 46
○南部町立小中学校児童生徒の状況	 P. 47～55
1. 児童生徒の学力(全国学力調査)	 P. 47
2. 児童生徒の生活の状況(全国学習調査)	 P. 48～52
3. 町立小中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績	 P. 53～55

◎ 点検及び評価の概要

- (1)経緯 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)により、平成20年4月1日から、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出することが義務づけられた。
また、同法の規定により、点検及び評価結果は公表することとされました。

※参考 (教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)
第27条 教育委員会は、毎年その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第3項の規定より事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- (2)点検評価の対象 南部町教育方針にある教育施策の重点に基づいて行う事業。

- (3)点検評価の方法 次の手順で点検及び評価を行った。

〈内部評価〉

①事業担当課による点検及び評価

・各事業担当課が評価シートを作成し、実施状況についてをまとめ各課で評価した

②教育委員会による点検及び評価

・各事業担当課がまとめ各課で評価したものについて事業の妥当性について評価

〈学識経験者の知見の活用〉

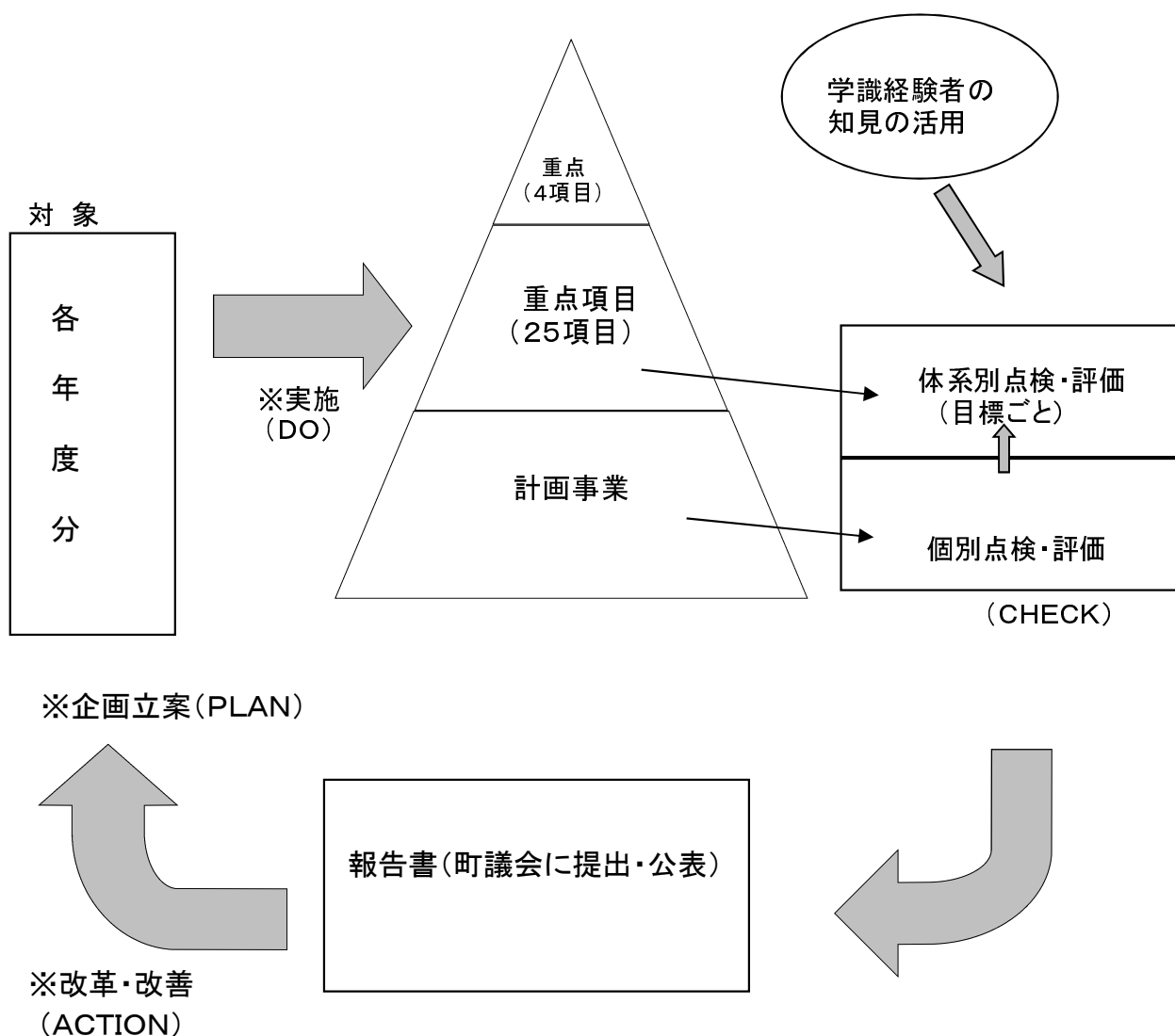
内部評価について、教育に関し学識経験を有する者から意見を聴取した

- (4)平成23年度点検評価アドバイザー

氏 名	団体・役職
平 山 幹 雄 氏	元青森県教育委員会西北教育事務所所長 元八戸市立第一中学校校長 八戸市教育委員会委員
工 藤 光 行 氏	元南部町教育委員会参事社会教育課長 南部町歴史研究会事務局 青森県剣道連盟理事

事務事業の点検及び評価とは

事務事業の評価は、町教育委員会が行っている仕事について、点検と評価を行い、必要に応じて事業の取り組み方法等を見直して、次の仕事の取り組みに生かしていくものです。



事務事業の企画立案 (PLAN)、実施 (DO)、点検・評価 (CHECK)、改革・改善 (ACTION) を継続して行うことで、より効率的で質の高い事務事業の実現を図っていきます。

南部町教育方針

○ 基本方針

南部町教育委員会は、青森県教育委員会及び三八教育事務所、関係機関、諸団体との連携を図り、豊かで潤いのある生涯学習の形成に向けて、「心身ともに健康で豊かな情操とすぐれた創造力、たくましい実践力を持ち、郷土の発展につくす人材の育成」に努める。

○ 教育目標

1. 町民の連携意識を高め、豊かな心と広い視野を持ち、積極的に郷土の発展に貢献することのできる品性豊かな町民の育成に努める。
2. 時代の変化に対応しながら、自分の生活に目標を持ち、豊かな情操と創造力・実践力を磨きながら生涯学び続け、社会参加のできる町民の育成に努める。
3. スポーツに親しみながら、自分の体力と健康に関心を持ち、自主的に健康で安全な生活を営むことのできる町民の育成に努める。

○ 教育施策の重点

1. 学校教育においては、主体的な学習態度を育て、個を生かし生きる力と夢を育む教育を推進する。
また、町内小中学校へ「特色ある学校づくり」のために町独自の支援を行う。
2. 社会教育においては、いつでも、どこでも、誰でもが学べる生涯学習体制の確立を図るとともに、学社融合事業と家庭教育の充実に努める。
3. 社会体育においては、スポーツ活動の振興やニュースポーツの普及と実践化を図るとともに、日常生活での体力づくりを推進する。
4. 文化活動においては、芸術文化活動の奨励や育成を図るとともに、伝統文化の継承・育成や未来に伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

◎学校教育指導の方針と重点

1. 方針

教育は人づくりという原点にたつて、知・徳・体の調和の取れた人間性豊かな幼児・児童・生徒を育成するため、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に努める。

2. 重点

(1) 授業の充実

一人一人の子どもが、各教科及び総合的な学習の時間等に主体的に取り組み、確かな学力を身に付けることができるよう、言語活動の充実を図りながら、一人一人の能力・適性に応じた指導と学習習慣の育成に努める。

- ア 基礎的・基本的内容に即した教材の工夫と教材研究の深化
- イ 個に応じた学習過程と評価を重視した指導の工夫
- ウ 自ら課題を見つけ、よりよく問題を解決する力を身に付ける指導の工夫
- エ 主体的・体験的な学習のための環境作りの充実

(2) 道徳教育の充実

一人一人の子どもが、人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念を具体的な生活の中に生かし得るよう、道徳性の育成に努める。

- ア 道徳的実践力を高める指導の工夫
- イ 豊かな心をはぐくむ体験活動の推進
- ウ 郷土に関する資料の開発と活用

(3) 特別活動の充実

一人一人の子どもが、望ましい集団や豊かな体験の中で互いの個性を認め合い、協力してよりよい生活や人間関係を築いていくことができるよう、自主的、実践的な態度の育成に努める。

- ア 自主的な態度を育てる学級活動・ホームルーム活動の工夫
- イ 自治的な意識を高める児童会活動・生徒会活動の工夫
- ウ 児童の個性の伸長と触れ合いを深めるクラブ活動の工夫
- エ 感動や連帯感を高める学校行事の工夫

(4) 体育・健康教育の充実

一人一人の子どもが、生涯にわたり自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、心と体を一体としてとらえ、健康でたくましい体をはぐくむ教育の推進に努める。

- ア 運動に親しむ資質や能力を育て、運動の楽しさや喜びを味わわせる指導の充実
- イ 運動の習慣化を図る指導の充実
- ウ 体力の向上を図る指導の充実
- エ 保健指導の充実
- オ 安全指導の充実
- カ 食に関する指導の充実

(5) 生徒指導の充実

一人一人の子どもが、豊かな生活を送ることができるよう、家庭や地域社会及び関係機関等との連携を図りながら、心の結びつきを基調とした指導を行うとともに、問題行動等の未然防止、早期発見、早期対応に努める。

- ア 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協同指導体制の充実
- イ 生徒指導の機能を生かした学年・学級・ホームルーム経営の充実
- ウ 児童理解・生徒理解に基づいた教育相談の充実

(6) 進路指導の充実

一人一人の子どもが、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できるよう、計画的組織的、継続的な指導に努める。

- ア 進路指導体制の充実
- イ 学級活動・ホームルーム活動における進路指導の充実
- ウ 児童生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観の育成

(7) 特別支援教育の充実

発達障害を含む障害のある子どもが、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善克服するとともに、その持てる力を最大限に発揮して自立や社会参加ができるよう一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める。

- ア 校内支援体制の整備・充実
- イ 個別の指導計画の作成と活用による指導の充実
- ウ 個別の教育支援計画の策定と活用による関係機関と連携した支援の充実
- エ 交流及び共同学習の推進

(8) 環境教育の推進

一人一人の子どもが、環境と人間のかかわりについて関心と理解を深め、環境に対する豊かな感受性を養うことができるよう、環境保全に主体的に取り組む態度の育成に努める。

- ア 教科等間の連携を踏まえた指導の工夫
- イ 地域の環境の実態に即した指導の工夫
- ウ 環境にかかわる体験学習の推進

(9) 国際化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、我が国や諸外国の文化と伝統について関心と理解を深めるとともに、国際社会に貢献できるよう、国際理解教育の推進に努める。

- ア 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育の推進
- イ 外国語指導助手等の活用や言語活動の工夫・充実によるコミュニケーション能力の育成
- ウ 異なった文化や習慣を持つ人々との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

一人一人の子どもが、情報活用能力を身に付けることができるよう、情報モラルにかかわる指導の充実を図り、系統的・体系的な情報教育の推進に努める。

- ア 情報教育を推進する指導体制の整備・充実
- イ 学習指導におけるコンピュータ等の適切な活用の推進
- ウ 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育の推進

(11) 研修の充実

教職の専門性を高め、教育活動の充実を図るため、計画的・積極的な研修の推進に努める。

- ア 校内研修体制の整備・充実
- イ 学校の教育課題解決のための実践的研究の充実
- ウ 地域と連携した特色ある教育活動の研究・推進
- エ 教育要領・学習指導要領に基づく実践的研究の充実

(12) 複式教育の充実

少人数の特性を生かし、一人一人の個性・能力の伸長を図るとともに、社会性の育成に努める。

- ア 学校運営・学級運営の創意工夫
- イ 複式指導の充実

(13) 幼稚園教育の充実

一人一人の「自立の態度」を育成するために、心身の発達の実情をよく理解し、自発的な活動を促す指導の充実に努める。

- ア 調和と統一のある教育課程の編成
- イ 実態に即した指導計画の整備
- ウ 「自立と協同の態度」を育成する指導の工夫

◎社会教育指導の方針と重点

1. 方 針

社会の変化に対応しながら、ライフステージに応じて、自己の啓発・向上をめざし、生きがいのある人生と豊かで住みよい地域社会を実現する社会教育の推進に努める。

2. 重 点

(1) 社会教育推進体制の充実

- ア ライフステージに応じた社会教育の基盤整備・充実に努める。
- イ 社会教育、学校教育、家庭教育の融合による教育活動の推進に努める。
- ウ 地域教育力の向上に資する人材の育成に努める。
- エ 学習情報の収集・提供及び学習相談の体制の充実に努める。

(2) 多様な学習機会の拡充

- ア 家庭教育の支援と学習活動の推進に努める。
- イ 青少年の豊かな人間性を育む学習活動の推進に努める。
- ウ 学習者が自発的に学習する体制整備に努める。
- エ 子どもの読書活動の充実に努める。

(3) 社会教育施設等の機能の充実

- ア 社会教育施設の整備充実及び活用の促進に努める。
- イ 多様な学習要求に対応する公民館活動の推進に努める。
- ウ 社会教育団体や学習グループ、サークル等の活動支援に努める。

(4) 多様な生涯スポーツの振興

- ア 社会体育施設の整備充実及び活用促進に努める。
- イ スポーツ・レクリエーション指導者の養成と活用促進に努める。
- ウ スポーツ・レクリエーション 活動の普及促進に努める。
- エ スポーツ関係団体の育成と活動の推進に努める。

◎文化財保護行政の方針と重点

1. 方 針

郷土に対する愛着と誇りを培い、うるおいのある町民生活を実現するため、未来へ伝える貴重な文化財の保存・活用に努める。

2. 重 点

(1) 文化財の保護・保存

- ア 文化財調査や記録作成を行い、国・県及び町の文化財指定を進める。
- イ 指定文化財の保存・修理及び防災施設等の支援に努める。
- ウ 様々な機会・手段を通じて文化財保護思想の普及・啓発に努める。
- エ 国指定重要文化財「南部利康霊屋」の保存管理に努める。
- オ 国指定史跡「聖寿寺館跡」の保存管理に努める。
- カ 国登録有形文化財「田中家住宅主屋・米蔵・門」及び「村井家住宅主屋」の保存支援に努める。

(2) 文化財の整備・活用

- ア 国・県及び町指定文化財や関連施設をネットワーク化し広域的活用を進めるとともに、情報発信に努める。
- イ 史跡聖寿寺館跡の土地公有化事業と発掘調査事業を進め、整備と活用に努める。
- ウ 南部氏関連史跡の調査研究活動と多様な活用に努める。

(3) 伝統芸能・技術の継承

- ア 伝統芸能の保存及び後継者の育成支援に努める。
- イ 伝統芸能の発表機会の充実に努める。
- ウ 子どもの伝統芸能伝承活動の推進に努める。

◎学校給食重点目標

- (1) より安全、安心のおいしい給食を目指す。
- (2) 栄養バランスのとれた食事内容の充実をはかる。
- (3) 手作りの料理を心がける。
- (4) 伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。
- (5) 地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。

H22年度 教育委員会事務の点検及び評価に関する事務事業一覧

シートNo. 1

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
1	スクールサポーター配置事業	P. 14	学務課
2	スクールカウンセラー事業	〃	〃
3	小学校国内交流事業	〃	〃
4	就学指導委員会委託事業	P. 15	〃
5	就学援助事業	〃	〃
6	学校の芸術文化活動事業	〃	〃
7	学校施設管理事業	P. 16	〃
8	奨学金貸付事業	〃	〃
9	特別支援教育就学奨励費事業	〃	〃
10	中学生海外派遣事業	P. 17	〃
11	語学指導外国語青年招致事業	〃	〃
12	教職員研修事業(国県財団主催)	〃	〃
13	学校施設耐震化事業	P. 18	〃
14	幼稚園就園奨励費補助事業	〃	〃
15	教育課程(名川幼稚園)	P. 19	幼稚園
16	教育課程(南部幼稚園)	〃	〃
17	発表会(おゆうぎ会)(名川幼稚園)	〃	〃
18	生活発表会(南部幼稚園)	P. 20	〃
19	お泊り保育(名川幼稚園)	〃	〃
20	お泊り保育(南部幼稚園)	〃	〃
21	運動会(名川幼稚園)	P. 21	〃
22	運動会(南部幼稚園)	〃	〃
23	体験活動(動植物の飼育・栽培)(名川幼稚園)	〃	〃
24	学校と地域ネット推進事業	P. 22	社会教育課
25	文化賞・スポーツ賞表彰	〃	〃
26	学校支援地域本部事業(国委託)	〃	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
27	食の歴史と体験学習	P. 23	社会教育課
28	女性学級	〃	〃
29	家庭教育セミナー	〃	〃
30	ふるさと「楽習」キャンプ	P. 24	〃
31	家庭教育講座	〃	〃
32	成人式	〃	〃
33	南部ふるさと塾	P. 25	〃
34	生活体験学習推進事業「通学合宿」	〃	〃
35	南部七唄七踊り全国大会	P. 26	〃
36	町内文化財パトロール事業	〃	〃
37	国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	〃	史跡対策室・社会教育課
38	奥州街道の整備・活用・普及	P. 27	〃
39	伝統芸能・技術の継承事業	〃	〃
40	国史跡「聖寿寺館跡」の活用（見学・体験発掘）	〃	〃
41	アロマフィットネス講座	P. 28	公民館
42	着付け教室	〃	〃
43	スターウォッチング	〃	〃
44	英会話教室	〃	〃
45	書道教室	〃	〃
46	やさしい茶道教室	P. 29	〃
47	ヨガ体験教室	〃	〃
48	読み聞かせ教室	〃	〃
49	趣味の教室	〃	〃
50	町民運動会	P. 30	体育館
51	うぐいすマラソン大会	〃	〃
52	南部町縦断駅伝競走大会	〃	〃
53	町民歩け歩け運動大会	P. 31	〃

整理番号	事務事業名	説明ページ	担当課・所
54	ニュースポーツフェスティバル	P. 31	体育館
55	ニュースポーツinスクール	〃	〃
56	ニュースポーツ移動教室	P. 32	〃
57	転倒・寝たきり予防教室	P. 33	B & G海洋センター
58	水の安全教室事業	〃	〃
59	B & Gアクアキッズフェス事業	〃	〃
60	マリンスポーツ体験学習	P. 34	〃
61	B & G海洋体験セミナー	〃	〃
62	B & G会長杯三戸郡下中学校バレーボール大会	〃	〃
63	B & Gスポーツ大会青森県大会	P. 35	〃
64	B & Gクリーンフェスティバルinなんぶ	〃	〃
65	初心者水泳教室	〃	〃
66	水に賢い子どもを育む年間活動プログラム事業	P. 36	
67	給食供給事業(より安全・安心のおいしい給食を目指す。)	P. 37	学校給食センター
68	給食供給事業(栄養バランスのとれた食事内容の充実を図ります。)	〃	〃
69	給食供給事業(手作りの料理を心がける。)	〃	〃
70	給食供給事業(伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切にする。)	P. 38	〃
71	給食供給事業(地元の産物を活用しながら、地域との連携を大切にする。)	〃	〃

事務事業毎個別評価の観点

1. 実績の評価

・事務事業の実績の評価は、各事務事業の担当者が事務事業評価シートを作成することにより行われます。評価の基準となる項目は、計画性・効率性・効果性・妥当性の4項目で検討され、次表の3段階で評価します。

- ※ ・**計画性** — 事業を必要とする社会的ニーズ、事業の進捗状況および終期の設定など事務事業が計画的に取り組まれているかを評価。
- ・**効率性** — コストの節減効果、一人当たりの事業費の高低、類似事業との比較などにより効率性の評価を行います。
- ・**効果性** — 総合計画実現への効果、目標とする成果に対する達成度を、経年的に把握することや、事業に対する住民ニーズ、計画段階からの町民参画、町民との協働など、町民の視点に立った事業となっているかを評価する。
- ・**妥当性** — 町が実施主体になるべき事業か、他の事業と併せて実施することができないかなど、事務事業実施の妥当性を評価します。

項 目	目標達成度	効果性に対し
評価が高い事業	◎	80%以上
評価が中位の事業	○	60～80%
評価が低い事業	△	60%以上

2. 総合評価

・総合評価は、1の「実績の評価」をふまえ事務事業毎に今後の方向性を検討しています。

拡 充	対象の拡大や手段の充実により事業を拡充し、さらに成果の向上を図る。	A
継 続	現状の状態で成果があがっているため、効率化に努めながら事業を継続する。	B
改善・縮小	対象や手段の変更、手段の絞り込み等により見直しを図り、事業の適性化・コスト削減また成果の向上を図る。	C
統合あるいは休止・廃止	事業目的の意義の低下または社会情勢の変化により、事業を一時的に中断・廃止するもの。または、目的が関連・類似する他の事業への整理・統合するもの。	D

事務事業毎個別評価表

◎学校教育指導の方針と重点

学務課関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
スクールサポーター 配置事業	教育上特別な支援を必要とする児童生徒及び悩みや不安を抱える児童生徒に対し、学校生活上の支援や学習活動上の支援、相談活動などを行う支援員を配置する。	小中学校の通常学級に在籍する多動傾向や介助を必要とする児童生徒に、学級担任の代わりにサポーターが対応してくれるため、担任や他の児童生徒が授業に集中でき、子どもたちへ目の行き届いた指導を行うことができた。		児童生徒が抱える悩みごとを気軽に話せる存在となり、学校生活や日常生活におけるストレス等を和らげたり、学校内のいじめや非行等の問題を小さいうちに解消することができた。 通常学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒及び不登校・不登校傾向にある児童生徒への支援の必要性が高まってきている。必要とする学校へ継続して配置するため学校は人材確保、町は財源確保が必要となる。また、学校規模やニーズに応じたサポーターの人数等についても検討する必要がある。	
		配置人数 全12校中12校12名 事業費 小学校配置(8名) 7,429,000円 中学校配置(4名) 3,799,000円 合計11,228,000円			
1－(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
スクールカウンセラー 配置事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度で専門的な知識及び経験を有するスクールカウンセラーを配置する県の事業である。カウンセラーは児童生徒へのカウンセリングや教職員及び保護者に対する助言・援助を行っている。	例年と同じカウンセラーを行っているため、児童生徒の実態を十分理解した上で、心のサインを受け止めてくれた。来校日には、児童生徒だけでなく、教員が子ども達とどう接すればいいかの指導方針についても相談したり、また、子育てに悩む保護者からの相談も受けたりなど、とても効果的であった。		東日本大震災により、スクールカウンセラーの需要がさらに高まってきている。カウンセラーは、臨床心理に関して高度で専門知識及び経験を有する者であるため、県の事業が打ち切りになった場合、町単独としては人材の確保が難しく、また財源的にも厳しいものと思われる。	
		配置校 南部中学校・福地中学校・向小学校 年間配置時 320時間/年間 事業費 県費負担			
1－(1)		実績の評価	◎	総合評価	B
小学生国内交流事業	南部氏の縁に結ばれた山梨県南部町の児童との交流をととして、ふるさとの歴史や自然等について理解を深めるとともに、新しい時代の主役となる子どもたちの友情や郷土愛を育むことを目的とする。	他県の児童と友情を育むことができ、また町内の小学校の児童同士の連携強化が図られ、感想文などから、郷土を愛する心の育成につながったものと考えている。1年ごとの相互間交流を実施している。22年度は当町の児童30名が山梨県南部町を訪問。		町内の小学校5・6年生を対象とし、夏休み期間を利用して行っている。将来を担う子ども達にとって、視野の拡大に連動し、充実した体験活動であり、心に残る事業であるため、今後も継続していきたい。	
		当町参加児童 30名(小学校5・6年生) 事業費 1,976,930円 (参加者負担金@7,000円×30名=210,000円)			
1－(1)		実績の評価	◎	総合評価	B

学務課関係 No. 2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
就学指導委員会事業	障害のある幼児及び児童生徒の障害の種類、程度および発達の状況等について、専門的調査および検査の実施や、就学機関等の適切な教育措置についての判断を行う。障害のある幼児及び児童生徒の就学に係る教育相談の実施など。	各保育園、幼稚園、小中学校等から相談票が提出された幼児及び児童生徒について、専門的調査・検査を実施し、その結果を基に適正な就学機関の判定を行うことができた。また、その判定結果を基に、各学校等においては保護者等との就学指導、相談業務を円滑に実施した。 ※平成21年度までは委託料(年間200,000円)を支払っていたが、22年度より一般予算に計上 判定件数 幼児5件、児童生徒19件		就学指導業務は、特別支援学級の担任をはじめ、養護学校等の県の特別支援教育に関わる先生方をお願いしているが、専門的知識が必要なこと、また、業務時間外における調査・検査も多く、重い負担をお願いしている。少しでも早い時期から対応することにより個に応じた対応が可能となることから、保護者の周知の理解が重要である。	
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	B
就学援助事業	経済的理由により、就学困難と認められる児童生徒に対し、学校教育法の規定に基づき学用品費・修学旅行費・給食費等を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。	就学する上で経済的問題が障害となっている世帯に非常に有効であった。 児童生徒の円滑なる義務教育がはかられた。 ○要保護児童生徒 認定者 (小)4名 (中)1名 事業費 0円(当該事業無し) ○準要保護児童生徒 認定者 (小)109名 (中)71名 事業費 (小)8,066,554円(中)6,866,878円		社会全体の経済状況、また、他事業との関連性等を考慮しながら本事業の認定基準等について再検討する必要がある。	
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	B
学校の芸術文化活動事業	文化庁の事業として実施されている「子どものための優れた舞台芸術体験事業」等を活用し、小中学校より希望を募り実施に向けての手続きを行う。	古の伝統芸能えんぶりの指導を受けたり、劇団の公演を鑑賞するなど、芸術・文化と接することにより感性を養い、創造性を育むことができた。また、地域に伝わる伝統芸能を体験することにより、地域への関心と郷土愛が深まった。 小学校2校 参加人数 173名		本事業は、文化庁の事業であり、今年度も同様に行った。今後は町としても、さらに文化芸術に親しむ機会を創っていく必要がある。	
1-(3)		実績の評価	○	総合評価	B

学務課関係 No. 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
学校施設管理事業	幼稚園・小学校・中学校の学校施設を良好に維持していくために、施設管理業務、維持補修及び改修工事を実施し、健全な学校生活環境の整備を行う。	計画に計上された小中学校の修繕及び管理業務の他、施設整備工事を施工し、学校の環境整備を図った。 施設修繕 22,92千円 施設整備 43,676千円	施設の老朽化により修繕が必要な箇所や、利便性向上のための改修箇所はまだあるため、今後も安全確保のための施設改修工事、維持工事を行っていく必要がある。また、殆どの学校が災害避難所となっていることから、防災機能向上を図る施設改修についても検討する必要がある。	
1		実績の評価	◎	総合評価 A
奨学金貸付事業	町内に住所を有する者の子で、高等学校以上の学校に在学し、勉学の意欲を有し、心身共健康で、かつ経済上の理由で就学が困難と認められる者に対し、就学に必要な資金を貸し付けることにより有能な人材の育成に努める。	平成22年度奨学金貸付対象者は、85名(内新規採用者29名)であり、将来を担う生徒が就学するための手助けとなった。平成20年度から、一般会計からの貸付を廃止し奨学基金からの貸付となるため、今後貸し付け事業を継続していくための資金として一般財源より繰り入れをし、貸付資金を確保することとした。 ・滞納状況は奨学基金12名 3,079,000円 一般奨学金 27名 4,922,250円となっており返還を強く働きかけていく。 ○平成22年度実績 ・貸付人数 高校 18名 専門学校 9名 短期大学 8名 大学 52名 合計 85名 ・ 貸付総額 34,272,000円	現在、貸付の申請があった者で採用基準を満たしていれば貸付を行っている。しかし、今後貸付の資金が不足した場合に、採用基準を満たしても貸付が出来ない場合も場合もある。採用の優先順位の基準を整える必要がある。経済上の問題から就学のための資金を必要としている世帯も多く、事業の継続が必要と思われる。	
1－(6)		実績の評価	○	総合評価 B
特別支援教育就学奨励費補助事業	小中学校の特別支援学級に在籍する児童生徒の世帯の所得に応じて、学用品費・給食費等の補助を行う。	国の認定基準によると、ほとんどの世帯が該当し、障害があるため特別支援学級に在籍する児童生徒を持つ保護者の経済的負担を軽減できた。 認定者数 (小)2名 (中)9名 事業費 (小) 62,193円 (中)450,750円 ※事業費の1/2以内で国庫補助金交付	障害を持った児童生徒の保護者の経済的負担の軽減ができる事業であるため、今後も継続が必要である。	
1－(7)		実績の評価	◎	総合評価 B

学務課関係 No. 4

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
中学生海外派遣事業	研修テーマは「町の代表として、恥ずかしくな いようにたくさん才ことを学んでくる」を心に刻 み、海外の歴史や文化・産業等の視察や現地 の学生と交流を行う。 また、ホームステイの体験を通して自主自立 の目覚め、日々の学習意欲の向上を促す。	町内4中学校の2年生から参加生徒を選抜 し、6泊8日の日程でアメリカ合衆国ハワイ州に 派遣、研修では、ホームステイを行うとともに、 現地の中学校を訪問し、交流を深める。 募集定員 40名 参加生徒 37名 事業費 11,881,842円 (参加者負担金 3,330,000円)		中学生という多感な時期に海外を訪問することにより、広 い視野を持ち、各学校のリーダーとしての意識を持ち、積極 的に学校内外の活動に取り組む姿勢等が伺える。また、町 内の4中学校の生徒が交流する貴重な機会となっている。 4校の行事等の日程調整で、実施時期は夏休み期間で実 施している。 また、平成25年度からは生徒数の減少等により、募集定 員及び参加者の自己負担額(90,000円)の検討が必要。	
1-(9)		実績の評価	○	総合評価	B
語学指導外国青年 招致事業	英語を母国語とする外国語指導助手が生徒 の身近にいることにより、英会話能力の向上及 び異文化への興味・関心を持つことが期待され ている。	町内の幼稚園・小・中学校に各地区毎に1名 ずつ計3名の外国語指導助手を配置している。 幼稚園では、月2回程度園児が英語に慣れるよ う、発音練習や英語の唄を歌う等の指導を行っ ている。(小学校は、隔週訪問、中学校は毎週 訪問)授業の他、英会話スピーチコンテスト、中 学生海外派遣事業の際の英会話指導も行っ ている。		平成23年度から小学校において英語が必修化されたこ とに伴い、小学校での授業数が増えた。そのため、小学校 の授業の内容について、今後検討していく必要がある。 また、英語を専門にしている教員が少ないので、ALTとど のようコミュニケーションをとっていくのかも今後の検討課題 である。保護者及び地域で英語堪能な方の活用と、小・中 学校の力を借りることを考える。	
1-(9)		実績の評価	◎	総合評価	B
教職員研修事業	教職員新任者(新採用者)に対して、地域の 教育課題・文化歴史等について理解を深めて もらうことを目的に実施する。研修で南部町の 歴史、文化、各種事業の内容を理解し、学習活 動に取り入れ教職の認識向上を図る。	新採用者3名で行った。研修内容としては、南 部町の歴史、文化を学び、町内の施設等の見 学を遂行。		この研修に参加する研修生はもとより、児童生徒の学習 活動に役立つような研修内容になるよう、受講者の声・意 見を聞きながら次回へのステップアップを図るよう内容を充 実していきたい。マンネリ化となりつつあるので打法を考察 をする。	
1-(10)		実績の評価	○	総合評価	C

学務課関係 No. 5

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
学校施設耐震化事業	耐震化が必要な校舎等については、耐震改修工事を行う。	計画通り実施できた。 学校耐震化事業 321,461千円		平成22年度で町内全小・中学校の耐震化が完了し安全な学校施設となった。	
1		実績の評価	◎	総合評価	A
幼稚園就園奨励費補助事業	幼稚園教育の推進を図るため、また、就園幼児のいる世帯の経済的負担を軽減するため、世帯の所得状況に応じて、公立幼稚園においては保育料の減免、私立幼稚園においては補助金を交付(事業費の1/3以内で国庫補助金が交付)する事業。	計画通り交付した。経済的負担が軽減された。 ○公立幼稚園 対象者 11名 事業費 352,000円 ○私立幼稚園 対象者 49名 事業費 5,400,200円		幼稚園に就園する幼児のいる世帯の経済的負担が軽減されることから、今後も継続が必要である。	
1-(1)		実績の評価	◎	総合評価	B

幼稚園関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
教育課程 (名川幼稚園)	教育要領について共通理解を深め、本園の指導計画の充実に努める。 ・子供の興味、関心を喚起する生き物体験育、栽培)やふるさと体験(お祭り、梨狩りセレモニーなどの町のイベント参加)を進めることができた。	教師の役割として、人的・物的環境だけでなく、空間的環境などの面で、個に応じた、職員の共通理解を図るようにしてきた。 名川幼稚園入園児数 53名 ・5歳児 22名 ・4歳児 16名 ・3歳児 15名	・幼児の主体的な活動を促し、幼児期にふさわしい活動が展開されるような指導とともに、創造性や言語能力の向上を目指し、自発的な遊びを通しての総合的な指導から、一人ひとりの発達の特性にに応じた指導に努める。 21年度から22年度に渡って、「健やかな心と体を育む保育」、基本的な生活習慣の形成や、食に関心をもつための環境に関する指導のあり方について園内研修を行う。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価 A
教育課程 (南部幼稚園)	これまでの指導計画は年少児(3歳児)・年中児(4歳児)・年長児(5歳児)と別々の様式を使用していたが、試行錯誤をしてきた結果、3年間を12期に分け、一貫した指導計画を作成して教育目標「心豊かでたくましいこども」を目指して計画的に保育を実施している。努力目標があって計画的に実施している。	平成22年度青森県幼稚園教育課程研究大会の発表で、園内研修課題「幼稚園における子育て支援活動」について、南部町でも取り組んでいる食育推進活動を通して行った2年間の研究の成果を発表した。 南部幼稚園入園児数 19名 ・5歳児 7名 ・4歳児 7名 ・3歳児 5名	新教育要領になってから、さらに平成20年にも一部改正になり、その内容も考慮に入れて指導計画を作成している。また、内容をより充実した物にするため、反省や見直しを繰り返し、教育目標・努力目標を目指して、職員の共通理解研修内容……指導のありかた	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価 A
発表会(ゆうぎ会) (名川幼稚園)	友達と歌や楽器、劇、語り、ゆうぎなどを役割分担しながら表現したり、必要な小道具などを作ったりして発表することを楽しむことができた。ゆうぎ会は、幼稚園生活での活動に対する個々の子供の成長の姿を見てもらう良い機会となっている。	沢山の観客の前で、これまでに積み重ねてきた表現活動を友達と一緒に発表でき自信を持たせることができた。ゆうぎや劇発表では、衣装を着けて役になりきって発表を楽しんでいる。「みんなが主役」になれるようなプログラムを構成して行った。当日の演技発表では、その子なりに自分の力を発揮していた。中学生ボランティアを依頼して、全体の手伝いをしてもらい助かっている。 ・参加園児数 61名 ・中学生ボランティア 5名 ・場所: 名川幼稚園ホール	開園以来続いている行事の一つで保護者の方々も楽しみにしている。また、子供達もゆうぎ会を経験することで表現することに興味・関心を持ち、友達とのつながりも一層強くなるので、これからも楽しんで活動に取り組めるようにしていきたい。また、練習のための時間の取り方と指導の在り方を工夫する必要がある。ゆうぎ会衣装は、園及び他の施設から借用して対応している。新衣装用の予算面での対応に苦慮している。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価 B

幼稚園関係 No. 2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
生活発表会 (南部幼稚園)	毎日の幼稚園生活での活動を劇やおゆうぎ・歌・楽器演奏などで表現して、友達と相談し、協力しあいながら衣装や道具を工夫したり、製作したりしている。みんなの前で発表する生活発表会は子どもの成長の姿を見てもらう良い機会である。	毎日、楽しんで繰り返し行うことで生き生きと活動を発表することができた。また、役になりきる友だちの様子を認めて、組全体で取り組む意欲につながった。毎月2回行っている英語教室で覚えたあいさつを園児同士英語で発表した。 ・参加園児数 19名 ・場所: 南部幼稚園ホール		毎年、工夫をして繰り返している生活発表会を、保護者の方々も楽しみにしている行事の一つである。園児たちも、この時期になると園生活に慣れて生活発表会を楽しむことができる。園児の興味、関心を、発表することに向けて、力を十分発揮して友だちとやり遂げた達成感を味わいながら、感性を豊かにしていきたい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
お泊まり保育 (名川幼稚園)	お泊り会を経験することにより、家族と離れて一人だけで泊まる経験のない子どもにとって、友達や教師と一緒に幼稚園に宿泊をしての共同生活は「何でも自分でやろう」という目標のもと、子供達の自立に対する自信を持たせることが出来た。 たった一日だけだったが、大きな経験をして、また一歩成長することが出来たと思う。	いつもと異なる環境の中で、自宅以外の環境に泊まる保育を体験することにより、友達と協力し合いながら楽しく過ごすことが出来た。また、様々な経験を通して自分のことは自分でするという自立に対する自信を持たせるように活動する。 ・参加園児数 5歳児 21名 ・参加費 1,500円 ・場 所 名川幼稚園		この事業は、開園以来継続して実施してきている。お泊まり会を体験することで、子供達に一人で泊まれたという自信と達成感が見られる。しかし、子供達より保護者の方が不安を抱く場合が見られる。その気持ちが子供に伝わって不安感を抱かせているように思われる。子供達に対しては、前年度の写真を見せたり、話を聞かせたりして期待を持たせ、保護者に対しては園だより等を通して説明をし、理解と協力を得ている。このお泊まり保育は、子供達の成長過程において貴重な体験なので今後も継続して行きたい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
お泊まり保育 (南部幼稚園)	いつもと異なる環境の中での集団生活(お泊まり保育)を通して望ましい人間関係の育成を図り、自立への自信を持たせる。	ほとんどの子は一人で他に泊まるという経験がなかった。初めての経験であったが、親元を離れて友達と協力しあいながら楽しく過ごすことができた。園で収穫した野菜を調理したり就寝の準備をしたりすることで自分のことは自分で出来るという自立に対する自信を持つことが出来た。保護者も園児の成長を感じている。 ・参加園児数 7名 ・参加費 2,400円 ・場 所 南部幼稚園 ※年少児・年中児は、夜店とキャンプファイヤー迄の参加で費用は700円		親元を離れてのお泊まりに対して、子供だけでなく保護者も不安感があるようなので、事前に前年度のお泊まり保育の話を聞かせたり、写真を見せたりなどをして、保護者の不安を取り除く配慮が大切である。お泊まり保育に参加した園児は、友達との交流を深め、自信が付く行事であり今後も続けていきたい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B

幼稚園関係 No. 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
運動会 (名川幼稚園)	友達と共通の目標に向かって協力して運動会活動が展開できるように進めている。そして、当日は「家族みんなで参加し楽しめる運動会」をねらいとし、父母・兄弟・祖父母も参加できる競技を組み入れ工夫を凝らすようにしている。	日曜日に実施していることもあって、家族の参加・応援が賑やかである。また、父母・兄弟・祖父母も率先して競技に参加してくれる。競技の中に5歳児・4歳児には定番の競技があって、子供達が毎年競っているが5歳児には、一人一役ということで団長をはじめ、いろいろな役割分担をし、実施している。運動会を通して、心身共にたくましく成長する姿が見られた。		運動会経験後は、身体を動かすことや競争することに興味や関心を持って、遊びも活発になっている。体を動かすことに興味を持って参加できるように競技環境構成を工夫し、子供達にとって楽しい思い出になるようにしていきたい。保護者の協力なしでは運営できないものなので、保護者の意見も取り入れ、連絡を取り合いながら進めていく必要がある。教育目標の、心豊かで元気に楽しく遊ぶ子ども像を目指したい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
運動会 (南部幼稚園)	園児中心の運動会をモットーにしているため、子供達が運動会前から当日まで楽しく練習をするという過程を大事にしている。 運動会は家族と一緒に楽し運動会後は、しばらく余韻を楽しむような環境づくりを行った。	運動会は、練習から当日までの一連の流れが、子供達の園生活の延長線上にあるものだという考えで計画、実践している。つまり、日頃の、運動的な遊びや活動から種目の内容を考えるなど、子供主体で行っているが、園児数が少ないため、種目の半数は父母と一緒に競技が中心となっている。父母を始め家族がとても協力的で盛りあがった運動会となった。		教育要領では、「しなやかな心と体の発達を促す」ことを求めている。運動会や日常の活動の中で危険を回避する身のこなし方を養い、自立心を育て、友達と力を合わせながら主体的に運動に取り組めるような環境構成の工夫に努めた。運動を通して自らの生命を守ることを教えていながら、よく寝る・よく遊ぶ・よく食べる、そういった日々の活動を充実させ、教育目標である心豊かでたくましい子供の育成を目指したい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B
体験活動 (名川幼稚園)	金魚や熱帯魚、亀などのほかに、ザリガニ、オタマジャクシ、クワガタ虫やカブト虫の成長の様子を観察したり、餌を与えて飼育している。畑では、枝豆、ジャガイモ、サツマイモなどを5歳児が中心となって栽培をしている。収穫は、全園児が協力して行い、家に持ち帰ったり、落ち葉集めなどを行い幼稚園で焼きいも会をして食べたりしている。	飼育図鑑などを見ながら興味を持って飼育物の成長を見守っている。また、飼育物を世話することで、生き物の命の大切さに気づき、いたわる気持や、やさしさが芽生えている。畑での栽培は、水やりや草取りなどをして世話をすることで「食」への関心を持てるようになった。そして、自分たちで育てた野菜を収穫して持ち帰ることでコミュニケーションも増え家での食事も喜んで食べるようになったという保護者の声が印象的である。 ・名川幼稚園入園児数 53名 ・5歳児 22名 ・4歳児 16名 ・3歳児 15名		飼育物の世話をしていると「生」と「死」の場面に出会うが、その場その場で命の大切さを知らせるには良い場になると思う。また、畑での栽培を通して、自分たちで栽培・収穫したという体験をすることで「食べる」ということに一層興味関心を持てるようにしたい。これからも引き続き子供達と一緒に体験を通しての保育に努めていきたい。	
1-(13)		実績の評価	○	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

◎社会教育指導の方針と重点

社会教育課関係 No. 1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
学校と地域ネット推進事業	町内各小・中学校の要望に応じて、各分野の専門家・愛好家の方々に授業等の学校教育活動に参加してもらうことにより、児童生徒の基礎的・基本的事項の定着を図り、あわせて地域に対する愛着の心を育む。	・内 容 学校の要望に応じて講師(ゲストティーチャー)を依頼、派遣する。 ・対 象 児童・生徒 ・参加者数 講師30名学習者のべ3,290名 ・回 数 150回 ・予算区分 町単独 300,000円	文科省、県教委ともに学校と地域の協働による教育活動を推進していることから、当事業の利用件数を拡大していきたい。この事業を利用する学校が増え、教育効果の向上につながり、社会教育面では地域の教育力の向上が図られた。地域にいる観光・文化の人材を活用した教育の向上・地元のスポーツの指導者を活用した社会教育力向ための予算確保に努める。	
2-(1)		実績の評価 ◎	総合評価	A
文化賞・スポーツ賞表彰	文化、スポーツに功績があった方(団体・個人)、また、顕著な成績をおさめた方(団体・個人)を表彰する。	文化の向上、体育・スポーツ振興に功績があった方を表彰した。 ・内 容 文化功労賞、文化賞、文化奨励賞、スポーツ功労賞、スポーツ賞、スポーツ奨励賞 ・被表彰者 個人123名 団体1団体 ・予算区分 町単独 225,000円	町の活性化、人材育成が促進されたことが大である。衆人の模範とみられる功績があった方々への賞であることから継続する。	
2-(1)		実績の評価 ○	総合評価	B
学校支援地域本部事業(国委託)	国委託事業 地域住民が積極的に学校を支援し、地域の教育力向上を図る。	町内小・中学校12校全校で実施された。コーディネーターに働きかけにより、円滑に事業が行われている。 事業の周知、体制作りに加え、今年度は活動の増加を図った。各校1名以上を理想とするが、現在2校にコーディネーターが配置されていない。 内容 ・実行委員会の開催(年3回)委員5名 ・学校支援地域本部の活動・コーディネーター会議(年10回)・学習会(1回)・学校の要望に応じて、学習支援ボランティアを募集し、コーディネーターが学校と地域の調整を図り事業を実施。 経費 3,990,000円	コーディネーターの配置校では教員か、子どもに向き合う時間の増加が図られ、地域にとっては、個人または団体の得意とすることが生かされ双方にプラスになっている。文科省、県教委ともに学校と地域の協働による教育活動を推進していることから、この事業は継続する。今後は、ボランティアを行う個人・団体の育成に努めたい。	
2-(1)		実績の評価 ◎	総合評価	A

社会教育課関係 No. 2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
食の歴史と体験学習	地域の特性を生かした「食」について学び、地域との交流を深め、子供の豊かな感性と人間性を育むことを目的に市場食育祭において体験活動を行う。	体験活動として、昔ながらの「せんべい(てんぼ)焼き」や南部氏が入部の際の供応の際に出されたと云われる「てんぼ焼き」を再現実施することから、小学校等を利用して、子どもや保護者へチラシを配布し、参加を呼びかけた。参加が約200名と多く幼児から高齢者までと幅の広い年齢層での体験活動となった。 ・参加者数 約200名 ・実施日 平成22年11月28日 ・実施場所 南部町営地方卸売市場 ・事業費 15,000円	今年度は新たに、現在ではあまり作られなくなった「てんぼ焼き」実演体験コーナーを設け、試食も実施し大好評であった。今後も食を通して、ふるさと南部町の食文化の理解そして促進を図りたい。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価 A
女性学級	町内の女性が広く教養を身に付け、資質・能力の向上を図ることを目的として、講座を開催する。	南部町連合婦人会が主体となり、講座の計画や周知等、自主的な活動が行われているため、当初の目標である学習者の自発的学習体制は確立されている。教室は、太極拳、八戸市内視察、手軽にできる家庭療法など、多くの方々が興味を持ちやすく、参加しやすい内容で行われた。 ・参加者数 のべ138名 ・実施回数 5回 ・実施場所 中央公民館他 ・事業費 10,000円	内容・開催方法等に関しては特に問題はないが、一般からの参加が望まれるという前年度の反省の下、「救急法」と「気軽にできる家庭療法」については、一般からの参加も募った。婦人会33名以外の町民参加が計20名あった。参加者同士で交流する様子もみられ、アンケートからも満足度の高さがうかがえた。女性の地域における社会連帯意識の確立や形成、資質・能力の向上に向けて、この事業は非常に有効であり、これからも拡大拡充が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価 A
家庭教育セミナー	町内の幼児のいる保護者を対象に、子育てに関する養育のあり方の向上を目的に、講座を開催する。	中央公民館の読み聞かせ事業と連携協力し、町内乳幼児施設などでの行事と併せて開催したため、参加者が多く、学習効果は非常に大きかった。また、施設により、乳用児も一緒に参加する場合もあり、親子や祖父母の間での交流も図られていた。読み聞かせの普及や子育てに関する養育のあり方の向上を目指す事業として非常に有意義であったと考える。 ・参加者数 230名 ・実施回数 6回 ・実施場所 町内乳幼児施設等 ・事業費 5,000円	多くの保護者が集まる機会を利用し、行事中での講座開催のため、子どもにも参加できる内容が多くなっている。今後は、開催内容について、マンネリ化にならないように修正検討等が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価 B

社会教育課関係 No. 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
ふるさと「楽習」キャンプ	ふるさとの自然を体験し、同年代・世代間の交流を深め、子どもの豊かな人間性を育むことを目的に、共同生活体験・野外炊事体験・工作体験等を行う。	野外でのテント生活やドラム缶風呂など、日頃体験できないプログラムのほか、自然を利用したツリーイング、地域人材を活用した炊事など、様々なプログラムを設定し、同世代や世代間・地域の方々との交流が図られ、子ども達も生き生きと活動をしていた。 ・参加者数 37名 ・実施日 平成22年8月7日～8月8日1泊1泊2日 ・実施場所 名川チェリリン村・事業費	今回の事業は平成21年度11名から37名と参加者が非常に多くなり、自然や生活・社会体験など、様々な体験活動の機会を通し、社会性や思いやりなどの豊かな人間性を育む効果は大きかった。 今後も事業の拡大・充実が望まれる。子どもに豊かな人間性を育む機会を与えるとともに、地域の教育力向上の一助となったと考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価 A
家庭教育講座	町内小・中学校の保護者を対象に、子育てに関する資質・能力の向上を目的に家庭教育講座を開催する。	参加者の増加を目指し、参観日や就学児検診、PTA研修会など保護者が多く集まる機会を利用して開催した。内容に関しては、開催校教諭やPTAの代表と協議し、食育や若年生活習慣病予防、親子関係の築き方、携帯電話のルールとマナー、子どもの「心」に関することやキャリア形成・進路選択など。 ・参加者数 延べ709名 ・実施回数 12回 ・実施場所 町内小・中学校 ・事業費 84,000円	家庭教育の支援・学習機会の推進を図るため、この事業の効果は大きいと考えられる。また、今後の子育て・家庭教育支援の重要性や必要性を鑑み、事業の拡大が望まれる。現在保護者が抱えているような問題点に、家庭教育の大切さの意識の向上を図ることができた。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価 A
成人式	大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする新成人を祝い、励ますことを目的に開催。	式典は、主催は南部町、主管として南部町教育委員会、後援として南部町連合青年団での開催。連合青年団には、多大な協力を頂いている。アトラクションの部では成人式実行委員会によるスライド上映及びオンラインによる演奏、その後、地区別による記念撮影など。 平成2年4月2日～平成3年4月1日の間に生まれた者(南部町に在住の者及び町内中学校卒業生) ・成人式対象者数 247名 ・参加者数 190名(男性110名、女性80名) ・実施場所 町民ホール ・事業費 398,000円	これまで課題となっていた新成人の自発的に参画できる状況設定や、プロセスへの関わりなども多くもたれていたことから、今後は青年活動へつなげる方策が必要と考える。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価 A

社会教育課関係 No. 4

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
南部ふるさと塾	ふるさとの歴史・伝統・文化を学ぶための歴史講座 ・第1回講座 平成22年11月6日講師 細井 計氏 ・第2回講座 平成22年12月11日講師 小笠原正樹氏 ・第3回講座 平成23年1月22日講師 馬場 清氏 ・第4回講座 平成23年2月5日講師 相内 知昭氏 場所は4回とも南部町立南部公民館 ・第5回講座は東日本大震災3.11のため中止	平成21年度は細井計氏(岩手大学名誉教授)や馬場清氏(田子町文化財保護審議会会長)など南部町周辺の歴史に造詣が深い研究者を講師として招聘した。 町の広報や新聞、ポスター掲示、チラシ毎戸配布等の活用によって前年度の1.5倍の参加があった。 全4回 参加者 延べ253名 事業費 180,000円		アンケートを実施結果は、全員から次回も参加したいとの回答を得た。地区別では、福地・名川・南部の3地区からの参加があり、22年度は八戸等近隣市町村からの参加が増加した。また各地区ではじめて参加する方が一定数あったことから新規参加に一定の成果が認められた。しかし、年代別にみると、60代が45%強、70～80代が36%と全体の8割強を占めており、50代以下の参加が少ない。50代以下の壮年層の取り組みが今後の課題である。また、地域の文化財を周知・見直す目的で文化財巡り等の野外講座も次年度は復活させたい。 講演自体には満足を感じている回答が大半であったが、会場については、中央公民館では寒く照明も暗く音響も悪いため会場改善を求める声が多かった。従って条件をクリアする会場に変更して対応したい。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
生活体験学習推進事業「通学合宿」(22年度終了)	生活体験活動や集団学習活動、交流活動を通して子どもの生きる力を育むことを目的として、3泊4日の日程で通学及び宿泊をする。	参加者の活動状況は日頃体験・行動していない内容にも自主的に参加し取り組んでいる姿が見られた。また、年齢・居住地域の違う人との集団生活から、あいさつやお礼など感謝の気持ち、教え合いや学び合いの心など協調性も養うことができた。 ・参加対象者 小学5・6年生 ・参加者名 11名 ・実施日 平成22年10月11日～14日 ・場 所 南部町立南部公民館 ・事業費 90,000円		開催場所に近い参加者が多かった理由として、通学・帰宅の方法や時間的な問題が考えられ、今後事業を行う場合は地区を限定した開催が望ましい。また、保護者アンケートによると事業後家庭において、子どもの変化はあまり見られなかったとの意見もあり、事業内容を考慮または変更する必要もある。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

◎文化財保護行政の方針と重点

史跡対策室・社会教育課関係 No. 1

事務事業名 社会教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
南部七唄七踊り全国大会	・目的 南部七唄七踊りの啓発・普及・後継者育成確保に努める。 ・内容 七唄 小学生の部、中・校生の部 七踊り 子どもの部、大人の部 ・対象 各部門毎	南部町、南部町教育委員会、南部町観光協会、南部町商工会、南部町文化協会、南部町郷土芸能保存会が実行委員会を組織して事業を行っている。年4回実行委員会を開催し、協議のもとに大会を開催している。 ・回数 年1回		南部地方の郷土芸能としての七踊りについては、出場者も多く、後継者育成の一助となっている。七唄については、唄の難しさからか出場者が減少傾向にあり、なんらかの手立てが必要となってきている。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
町内文化財パトロール事業	文化財保護法の趣旨に基づき、町内に所在する文化財の現状の把握と、保護のため、青森県文化財保護指導員と共にパトロールを実施 主な業務 ・遺跡の範囲変更及び新規遺跡の登録 ・埋蔵文化財の開発等による破壊や盗掘有無の確認	埋蔵文化財の現状を、踏査・情報収集により把握し、県文化財保護指導員と共に保護活動を実施している。 平成22年度の成果としては ・剣吉荒町遺跡の開発等の進捗状況の確認 ・虎渡前平遺跡・細尻遺跡の遺跡位置に誤りを確認した。 パトロール件数 埋蔵文化財=12遺跡 ・北向遺跡・清水頭遺跡・苦米地遺跡・雷遺跡・細尻遺跡・剣吉荒町遺跡・虎渡前平遺跡・法光寺小学校遺跡・館向遺跡・嘉左衛門山(1)遺跡・嘉左衛門山(2)遺跡・水沢遺跡		町文化財パトロールにより剣吉荒町遺跡、遺跡周辺の開発に関わる情報を事前に収集・確認することができた。また昭和50年・60年代に登録された埋蔵文化財包蔵地に地図上の位置の誤りを確認することができた。逐次訂正していき今後の南部町の文化財の保護につなげていきたい。	
3-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
国史跡「聖寿寺館跡」の発掘調査	国史跡聖寿寺館跡の整備基本計画策定を目的とした発掘調査。 ・発掘調査期間 平成22年6月1日から同年10月31日まで ・遺物整理・報告書作成期間 平成22年12月1日から平成23年3月31日まで ・調査面積 約720㎡ ・調査位置 城館平場西部 PR・普及活動 ・発掘調査現地説明会 平成22年10月9日参加者約66名 ・史跡聖寿寺館跡パンフレット(四つ折観音開き・フルカラー)作成	このような調査の結果があらわれた。 ・遺構=井戸跡1基・竪穴建物跡1基・土壌2基 ・遺物=陶磁器、銭貨、金属製品 平成22年度の調査によって城館西側の空間利用が把握できた。史跡聖寿寺館跡において初めて井戸跡が確認された。確認された井戸跡は不正方形を呈し、長軸7mを測る大規模なものである。井戸跡覆土からは大量の釘等、金属製品が検出され、堆積状況から城館焼失時の火事場整理等、焼失期の解明も期待される。 事業費:6,387,000円(国庫補助事業)		・井戸跡の確認によって城館西側の空間利用が把握できた。 ・井戸跡の状況から焼失期の解明も期待される。 ・次年度は整備基本計画策定のため平場西部を引き続き調査し、主殿等の中心的な建物の確認を進める。	
3-(3)		実績の評価	◎	総合評価	A

史跡対策室・社会教育課関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
奥州街道の整備・活用・普及事業	街道の草刈りや、向小学校6年生による街道ウォーク(学校と地域ネット推進事業による)の実施。 ・奥州街道の刈り払い(年2回) ・奥州街道ウォーク実施 ・平成22年7月30日 平成南部藩士子どもサミット奥州街道ウォーク 生徒34名 引率18名(山梨県南部町・身延町・岩手県盛岡市等) ・平成22年9月16日 南部町立向小学校6年生奥州街道ウォーク 児童37名 引率3名 ・平成22年10月16日 奥州街道ウォーク(農村交流推進課担当)観光客 36名	街道を歩いて、町の歴史を自分の足で歩き楽しく学ぶことは、児童にとって新鮮に歴史が目映り感動したようである。大いに評価できる事業である。 ・対象が児童である場合が多いため、安全管理は十分考慮して実施した。 ・奥州街道を歩きながら文化財を回り、郷土の歴史を学んだ。 ・前年度より2件多い、3件の街角ウォークを実施した。	体験型学習としては、発掘調査と同様に大いに評価できる事業であり、今後は町内全ての学校と協力し輪番制を取り入れて、全児童が体験できるように努力していく。 体験型学習としては、体験発掘調査と同様に郷土の歴史を学ぶ効果的な学習方法である。今後も町内各学校と連携しながら、郷土史を楽しく学ぶ企画を提案したい。	
3-(3)		実績の評価 ○	総合評価	B
伝統芸能・技術の継承事業	古くから郷土に根ざして継承されてきた芸能を保護し、さらに後世に引き継ぐために後継者の育成に努める団体に対し助成する。	町指定の無形民俗文化財の保存及び活用について有効に助成され今後もこの事業は町の伝統芸能・技術の継続に必要である。 ・南部町郷土芸能保存会 410,000円 ・無形民俗文化保存・活用事業 260,000円 ・無形民俗文化財後継者育成事業 180,000円 ・郷土芸能後継者育成事業 450,000円	南部七唄七踊り発祥後としての伝統芸能継承は今すぐに効果が見えるものではないため長いスパンで見なければならぬ。 特に子ども達の育成には多くの時間も必要であるために必要不可欠な事業であり、継続する必要がある。	
3-(3)		実績の評価 ◎	総合評価	A
国史跡「聖寿寺館跡」の活用(見学・体験発掘)	・対象が児童であるため、安全管理は十分考慮して実施した。 ・史跡聖寿寺館来跡者は前年より大幅に増加し、586名を数えた。また体験発掘参加校は前年より2校増え、4校となった。 - 今後も町内の各学校で事業説明を実施し、町内小学校全校が体験発掘に参加できる状況をつくりたい。	史跡聖寿寺館跡の見学・体験発掘によりPR・普及活動を実施。 体験発掘 小学校 4校 ・平成22年7月5日 田子町立上郷小学校5・6年生 18名 ・平成22年7月7日 南部町立向小学校6年生 34名 ・平成22年10月6日 南部町立福地小学校児童 22名 ・平成22年10月7日 南部町立剣吉小学校児童 38名	学校教育の枠内では、歴史教育は中央史のみに重点が置かれ、地方史は軽視されている現状がある。そのため、郷土の歴史を学習する機会を得ないまま社会人になる若者が大半であった。地元の歴史をとらえることは大切であり、その地元の歴史や文化を学ぶことは必要不可欠であり、体験型歴史学習として体験発掘は記憶に残る効果的な学習方法である。 今後も町内の学校と連携し、児童・生徒が郷土の歴史を学ぶ機会・体験する機会を提供し、子ども達が郷土に誇りをもてるような郷土中学習を推進していきたい。	
3-(3)		実績の評価 ○	総合評価	A

事務事業毎個別評価表

公民館関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
アロマフィットネス講座	アロマセラピーのリラックス&リフレッシュ効果と、簡単にできるエクササイズを結びつけた運動を通して、健康維持の一助となるように努める。 内容として、アロマフィットネスに関する講義と演習を行う。	心と身体の健康管理・健康づくりに効果が大きく、参加者の学習意欲も高かった。 【登録者数】20名 10回開催で延べ97名の参加であった。	参加者の健康管理・健康づくりに対する意識が高まり、事業の効果は大きい。 今後も会場や内容の充実に努め、開催していく。	
2-(3)		○	総合評価	B
着付け教室	日本の伝統ある着物を自分で着付け出来るようになることで、潤いのある生活形成を図る。内容として、着付けに関する講義と実習である。	参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされていた。 年10回開催し延べ84名の参加であった。	講座の内容も充実し、参加者の学習意欲も高く事業目的が達成できた。 参加者のレベルにあわせた指導により、伝統文化に対する意識が高く、今後も同様に継続していく。	
2-(3)		実績の評価 ○	総合評価	B
スターウォッチング (星空観望会)	内容として、親子での星空観望会を実施。星空を眺めることにより、自然環境、宇宙や科学技術等への興味関心を育み、星に関する文化知識を学ぶ。	宇宙天体望遠鏡での星の観望では、自然・環境について考える良い機会となった。また、月食観望会・新月鑑賞会も併せて行い、天体への興味を深めた。 5回開催し延べ53名の参加があった。	体験活動を通して学ぶことは多く、また、親子での参加により、ふれあいの良い機会となり、次年度も同様に開催していく。	
2-(3)		実績の評価 ○	総合評価	B
英会話教室	高校生以上の町民を対象に、国際人としての資質の向上を図るため、英語に親しみ、簡単な日常会話ができるようにし、国際理解の一助とする。内容として、英会話に関する講義と演習を行う。	初級、中級の2クラスで開催しているため、レベルに応じた学習を13回行った。 参加者は、初級クラス延べ146名、中級クラス延べ74名であった。	参加者の学習態度は極めて意欲的で、参加者による自主的な運営がなされている。外国人による、本物の英語を学ぶ良い機会となり、学習方法や内容は充実し、事業の今後の内容などを検討しながら、継続していく。	
2-(3)		実績の評価 ○	総合評価	B
書道教室	成人の町民を対象に、書道に親しむことにより、自己啓発を促す。 内容として、書道の基本についての講義・演習を13回行う。	参加者個々の目標は、概ね達成されている。 年13回開催し、延べ166人の参加者があった。	事業の効果は大きいと考える。次年度は、学習内容の特性上、習熟度を考慮した計画が必要である。 自主運営への移行など検討が必要であり、見直しをしながら継続開催していく。	
2-(3)		実績の評価 ○	総合評価	B

公民館関係 No. 2

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
やさしい茶道教室	忙しい現代社会において、心のゆとりのため日本の伝統文化である茶道の作法・礼法を学び親しむ。 内容として、5回の講義・演習を行う。	5回開催し、延べ30名の参加者があった。		ますます忙しくなる現代社会の中でゆったりとした空間を持つ日本の伝統文化の茶道の作法を学ぶ機会はあるので継続していく。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
ヨガ体験教室	心と体の健康のためのヨガ体験教室を開催する。 内容として、ヨガの講話・演習を行う。	体験教室として4回開催し、延べ48名の参加者があった。		ヨガを通して心身の健康づくりが促進されたことと、特に運動不足になる冬場の運動不足解消につながった。 次年度も継続していく。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
読み聞かせ教室	家庭教育事業のタイアップを図り、幼児・児童の保護者を対象に読み聞かせの意義や技術を学び、読書団体の育成を図ることを目的として、読み聞かせを6回行う。	町内の乳幼児施設において、保護者が集まる機会を利用し、6回開催し、延べ150名の参加があった。		読み聞かせへの理解が深まり、その効果は非常に大きかった。また、普及・PRにも効果があったため事業は必要と思われる。 開催方法などを検討しながら、今後も継続していく。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B
趣味の教室	町民が興味、関心のある教室を開講し、自己の知識、能力の向上を図る。 年間を通して月2回、全20講座は、自主運営で	町民の希望により、生け花・エアロビクス・コーラス・よさこいなど全20教室を開催した。延べ4,529名の参加があった。 教室の閉校式を兼ねて、発表会を行った。		各教室は自主運営されており、参加者の学習意欲も高く、事業の効果は大きい。サークル活動への移行も検討しながら、次年度も同様に開催していく。	
2-(3)		実績の評価	○	総合評価	B

事務事業毎個別評価表

体育館関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)
第4回町民運動会	町民の健康維持・増進と親和を図り、明日への活力を養う。	前日からの降雨でグランド状態が悪いため開催できなかった。 ・対 象 南部町民 ・参加予定人数 1,924名 ・開催日 平成22年10月10日(日) ・場 所 町立南部中学校・グランド	今年度22年度は、会場変更について検討したため種目の再検討が充分できなかったことから、改めて種目内容を検討する必要がある。
2-(4)		実績の評価 -	総合評価 -
第25回うぐいすマラソン大会	参加者一人ひとりの健康増進につとめるとともに、参加者相互の親睦を図る。	今年度22年度は合併5周年記念事業として、ゲストランナーに谷川真理さんを招聘し開催したため参加者が増加した。 ・場所 福地運動公園福地多目的広場 ・実施日 4月25日(日)9時～13時 ・申込者数 813名 参加者数638名	計器が誤作動を起こし記録を出せないコースがあるなど、反省点もあった。過去に豪雨の中で開催し、集計不能になるなどの事態があったことから、来年度以降は、当日中止も視野に入れて開催を計画したい。 すごく人気がある事業であり、記録集計の計測などに苦勞しているため、発展的な開催を継続していきたい。
2-(4)		実績の評価 ◎	総合評価 B
第4回縦断駅伝競争大会	陸上競技のレベルアップを図ることと、駅伝競走の普及と参加者相互の親睦と融和を図る。	・各中継所のテントが狭く、雨天と相俟って多少の混乱が見られた。今後は更に雨天対策を充分にし、参加者全員が競技に集中できる環境を整えていきたい。 駅伝競走大会(町内小学校、三戸郡下中学校・一般)の3種目 ・実施日 平成22年10月31日(日) ・場 所 南部町内 ・参加数 小学校9チーム、中学校男子9チーム、中学校女子6チーム、一般7チーム、計31チーム	・今後は更に雨天対策を充分にし、参加者全員が競技に集中できる環境を整えていきたい。また、現在のコース設定の見直しの時期にきていると考えられる。
2-(4)		実績の評価 ○	総合評価 B

体育館関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
第5回町民歩け歩け運動大会	町民の体力づくりと親睦のため行うもので、日常生活に潤いと歩くことの必要性の理解と健康で明るい町づくりに寄与することを目的に開催。今年は幸いにも天候に恵まれ、予定どおりのコースで行うことができた。	今年度は、各種大会・事業と重複しない時期の7月に計画した。 ・実施日 平成22年7月4日(日) ・場・所 岩手県八幡平市 ・参加者 21名		来年度の開催時期については、今年度と同じく7月頃に計画したい。町民からのニーズもあり、体力づくりの一助となる事業である。町民の体力づくり、維持、増進は必要であり、また、歩くことは各々の体力に合わせ誰でもどこでも気軽にできる運動であり、今後も住民に関心を持ってもらう事業として展開していく。今後、参加者からの意見を取り入れ、開催会場及び内容を検討し、充実する事業内容にして	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	B
ニューススポーツフェスティバル	冬場は、「身体を動かす機会がない」「ストレスの発散の場がない」等のことから、ニューススポーツを通して地域住民の健康維持・増進を図るとともに、各地区との交流、仲間づくりの推進に努める。	町民を対象とした、ニューススポーツ体験会 ・実施日 平成23年3月16日(水) ・場 所 B & G海洋センター (3.11東日本大震災のため中止)		ニューススポーツフェスティバルを開催することにより、多くの各町内会・スポーツ推進員の方々にルール等を習得していただくためにも必要な事業である。	
2-(4)		実績の評価	-	総合評価	-
ニューススポーツinスクール	青少年のスポーツ活動の充実とニューススポーツの普及を図る。	町内小・中学校の要望に応じてスポーツ教室を開催(グランドゴルフ、ユニホック、バウンドテニス、ドッチビー) ・実施回数 14回 ・参加者 講師19名 参加者延べ182名		スポーツレクリエーション活動の普及推進のためには効果的な事業であると思われるため、周知方法を検討したい。 名川地区から需要は多いが福地・南部地区がニューススポーツinスクールの事業を知らない先生が多く依頼件数が少なかった。(PR普及に努める。)	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	A

体育館関係 No. 3

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
ニュースポーツ移動 教室	ニュースポーツの普及と地域住民の健康維持・増進を図る。町内の各種団体の要望に応じてスポーツ教室を開催。	昨年度と比べ、依頼数が増加した。親子レクレーションでの依頼が多いので、学校へ周知し事業拡大を図りたい。 ・実施回数 12回 ・参加者 「講師」21名・「学習者」316名		親子レクでの依頼活用が多いので、学校等へ周知しながら事業拡大を図っていく。さらに各地区からの依頼件数を多くしていくため、周知方法を検討し普及をしていきたい。	
				総合評価	B
2-(4)		実績の評価	○		

事務事業毎個別評価表

B&G海洋センター関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
転倒・寝たきり予防教室	高齢者を対象にした運動啓発事業である。増加する高齢者を対象に、運動の楽しさや重要性を知ってもらうことで習慣化を促し、転倒・寝たきり予防を図るとともに参加の生きがいづくりを目指す。 ・内容 ストレッチ、筋力トレーニング リズム体操、レクリエーション ニュースポーツ、健康についての講 健脚度測定	・実施場所 南部公民館、福寿館、海洋セン ・実施回数 36回 ・参加者数 南部地区28名(延べ275名) 福地地区27名(延べ250名) 名川地区28名(延べ277名)		参加者の体力レベル、当日の健康状態に留意しながら、今後も教室を続け参加が運動に親しむように継続していく。	
2-(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
水の安全教室事業 (福地中学校)	自分の命は自分で守る自助意識を身に付けさせる水の安全教育を推進するとともに、あらゆる状況での水の事故を無くすためアクシデント時の対処方法や救助法を指導する。 ・水辺での安全指導 ・着衣泳	・実施日…9月1日(水) ・実施場所・海洋センタープール ・参加者…町立福地中3学生 生徒53名		水中を着衣状態で動くことの難しさと危険さを体験することができた。また、その対処法や救助法を学習したことで、水辺の事故防止を図ることができた。今後は、他の小中学校にも当該事業を展開したい。 対象人数が多く、全員を指導するのが困難であった。町内の中学校が終了するまで各中学校で実施するよう検討していく。	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	A
B&Gアクアキッズ フェス事業	B&G財団が主催する全国の海洋センターで同一日同時開催する水中運動会に参加する。 実施種目 ・水中4人5脚 ・浮き輪でGo! ・着衣&お着替え100mリレー ・ノータッチボール	・実施日…7月28日(水) ・実施場所・海洋センタープール ・参加者…町内小学4年生～6年生 16名		水泳の得意不得意に関わらず、水に親しみ楽しむことができた。 インターネットを利用して全国の結果を集計するため準備や時間配分が必要であるが、全国での順位が同日にわかるため、意欲的な活動につながる。今後も継続し実施するよう検討していく。 同一日開催のため、開催準備等に時間が多く必要であ	
2-(2)		実績の評価	○	総合評価	A

B&G海洋センター関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
マリンスポーツ体験 学習会	町内小学生が一堂に会し、海洋性スポーツを通じて人間性と体力向上を図るとともに、心の豊かさを育てることを目的とする。 岩手県山田町B&G海洋センターの協力を得て、海洋性レクリエーション体験や安全学習、養殖場の見学などを実施している。 岩手県山田町B&G海洋センターは三陸沿岸にある施設でマリンスポーツ体験学習に適した施設であることから、協力を得て実施。	・実施日 7月30日～7月31日(1泊2日) ・場 所 岩手県山田町 ・対 象 町内小学4～6年生 ・参加者数 17名	実際に海で活動することにより、海の楽しさや危険な部分を肌で感じる事ができた。また、全て団体行動であるため、団体の中で個人のあり方や思いやりの重要性を感じることができた。夏休み期間は、学校行事や部活、小学生を対象にしたイベント等が多く、適当な時期に開催することができず、参加者が定員30名に満たない状況であり、できる限り児童が参加しやすい日程を確保し、チラシやポスターで情報を提供して参加者の増加を目指す。	
2-(4)		実績の評価 ◎	総合評価	A
B&G海洋体験セ ミナー	共同生活を通じて、異世代間のコミュニケーションについて学ぶとともに、沖縄での海洋性レクリエーションや自然体験活動を通して、海・船・海洋環境に係る理解を深める。 ・海洋性レクリエーション体験 ・自然体験活動 ・史跡見学等	・実施日 7月29日～8月2日(4泊5日) ・場 所 沖縄県北部地区 ・対 象 小学校5年生～中学校3年生 ・参加者数 3名	参加者の感想文や保護者の話からも自然環境や海洋性レクリエーションなどに対する意識の高揚が感じられた。また、多世代との集団生活や活動を通じて、礼節などの社会性を身に付けることができた。定員3名の募集に対し11名の申し込みがあり、対象者からの関心は高い。海洋性レクリエーションはもちろんのこと、沖縄の自然環境や安全知識を学習できるため、今後も継続すべきと考える。	
2-(2)(4)		実績の評価 ◎	総合評価	A
B&G会長杯三戸郡 下中学校バレー ボール大会	バレーボールを愛好し、大会を通して学校相互の親睦と技術の向上を図る。	・実施日 5月1日～5月2日 ・場 所 南部町体育館 ・対 象 三戸郡内中学校バレーボール部 ・参加者数 男子3チーム、女子6チーム	三戸郡中学校体育連盟との共催で春季青森県大会の予選会にもなっているため、三戸郡内の全中学校バレーボール部が参加し、交流を深めるとともに技術を磨いている。今後も生涯及び競技スポーツを振興していきたい。	
2-(4)		実績の評価 ○	総合評価	A

B&G海洋センター関係 No. 3

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
B&Gスポーツ大会 青森大会	B&G財団地域海洋センター青森県連絡協議会の主催事業で、B&G地域海洋センター及びB&G海洋クラブで練習を行っている青少年を主たる対象に海洋性レクリエーションを中心としたマリンスポーツ大会を開催し、海事思想の普及・海洋性レクリエーションの振興を図るとともに、体力の向上に寄与し、各センター・クラブ相互の連携と親睦を図る。 水上・水泳の2競技のうち、水泳競技に参加	・実施日 前泊 7月26日(月) ・大会 7月27日(火) ・場所 北津軽郡鶴田町 ・対象学年 町内小学6年生 ・参加者数 6名		町内小学6年生が参加し、他市町村の選手と競技を通じて交流を深めるとともに、競技力向上にもつながった。当該大会の参加者を増やして競技力向上を図っていくとともに、水泳教室等を活用し普及促進を図る。他の行事と重複した児童もあったため参加児童が少なかった。	
2-(4)		実績の評価	○	総合評価	B
B&Gクリーンフェスティバルinなんぶ	海洋性レクリエーションの普及、水辺地域に環境保全の意識付けを図る。 ・カヌー体験 ・水中スポーツ ・海洋センター周辺の清掃活動	・実施日 8月8日(日) ・場所 海洋センター ・対象学年 町内小学4年生～小学校6年生 ・参加者数 25名		郷土の自然環境の一部を知り、清掃活動を行うことで水辺の環境保全の意識付けが図られた。また、カヌー教室で海洋性レクリエーションの楽しさを学ぶとともに、ライフジャケット浮遊体験を通して、自分の命を自分で守る自助意識を身に付け感ずることができた。 今後も環境と生物の調査や海洋性レクリエーションを通して、清掃活動の重要性を自己で感じとれるようなプログラムを実施していく。 普及策を今後どのようにしていくかが課題である。	
2-(2)(4)		実績の評価	○	総合評価	A
初心者水泳教室	水や水泳をよく理解してもらい、水泳に対する興味を持ってもらう。	・実施日 8月9日、10日、11日、12日 ・場所 海洋センタープール ・対象 町内小学校1年生～3年生 ・参加者数 20名(延べ75名)		参加者のレベルに合わせた指導に心がけ、水の楽しさ、泳げる喜びを感じることができた。定員20名の募集に対して、倍の申し込みがあり、対象者の保護者の関心は高い。今後は日程を確保して定員を増やしていきたい。	
2-(4)		実績の評価	◎	総合評価	A

学校施設管理 事業

B&G海洋センター関係 No. 4

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況	評価 (事業の評価・今後の方向性)	
水に賢い子どもを育む年間型活動プログラム事業	名久井小学校・名川南小学校4年生を対象に、年間を通して「水」をキーワードに自然環境、安全学習、水生生物等についての体験や実験、物づくりを指導する。	・実施場所: 名久井小学校、如来堂川、馬淵川、海洋センター ・実施場所: 名川南小学校、如来堂川、馬淵川 ・実施回数 & 参加児童数 名久井小学校: 5回 参加児童 24名 名川南小学校: 7回 参加児童 6名	年間を通して水に関わる活動実施し、身近な自然環境に興味を持つ児童が増えた。各種活動後の児童の感想から、自然環境や生命に対する意識の向上が見られた。児童は積極的に活動しており、学習意欲も高く、事業の効果は大きい。フィールドにあった内容を取り入れ、事業を充実していきたい。	
			実績の評価	総合評価
2-(4)		○		B

事務事業毎個別評価表

◎学校給食重点目標

給食センター関係 No. 1

事務事業名 学校教育指導の重点との関連	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
給食の供給事業	より安全・安心のおいしい給食を目指す。	安全、安心な食材の選定に努め、献立に工夫をこらし、子ども達に喜ばれる給食を提供した。 他の施設との情報交換を密に行ない、より安全安心な食材を購入するように努めた。 調理従事者及び施設の衛生管理を徹底し、事故・食中毒の防止を徹底し、安心な給食を提供することができた。		より安全、安心な給食提供のため、地場産品を季節毎に新鮮で安心安全な食材を選定、地場産品以外でも産地、栄養価、有害物質等の評価・管理といった調査研究をし、安全安心な食材を選定することができた。他の施設との情報交換をより密に行ない、またインターネット等を活用しさらに安心安全な食材を選定できている。	
4－(1)		実績の評価	◎	総合評価	A
給食の供給事業	栄養バランスのとれた食事内容の充実を図る。	偏った栄養摂取、朝食欠食など食生活の乱れや、肥満・痩身傾向など、子供達の健康を取り巻く問題が深刻化している現代社会において、子供達に食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身につけさせるため、学校に出向き児童・生徒及び保護者に対しての栄養指導を行っている。また、給食の時間には当日の献立の栄養効果等の放送原稿を作成し、各学校に配布し栄養指導などを行っている。		偏った栄養摂取がなくなるために、児童生徒に対して個別に栄養指導、またその子には保護者に対しても面談し助言等もおこなっている。他給食の時間を利用して、食に関する指導、学校給食の役割などを理解して貰っていただいている。	
4－(2)		実績の評価	◎	総合評価	A
給食の供給事業	手作りの料理を心がける。	学校給食は、栄養のバランスを考えながら献立を工夫し、美味しく・残さず食べれるように努めた。また、食材については、出来る限り手切りにし、レトルト食品に関しては手を加えるように努力した。施設の機器をより活用した給食を供給した。		児童生徒の正しい食事の在り方と、望ましい食習慣を身につけさせるため、給食を通して「生きた教材」として活用するとともに、栄養のバランスを考えながら手作りの料理を工夫し、献立に活用することができた。	
4－(3)		実績の評価	◎	総合評価	A

給食センター関係 No. 2

事務事業名 就学指導委員会 委託事業	事務事業の概要(内容)	事務事業の実施状況		評価 (事業の評価・今後の方向性)	
給食の供給事業	伝統食、郷土食を取り入れ、季節感を大切に する。	社会の近代化とともに食文化が大きく変化 し、伝統食・郷土食が失われる傾向にあり、学 校給食に伝統食・郷土料理を提供することによ り、地域の歴史や文化を後世に伝えることが必 要である。		学校給食に食文化・郷土食・伝統食をとりいれることによ り、より身近に実感を持って、地域の自然・食文化・産業等 についての理解を深めることが出来た。	
4－(4)		実績の評価	◎	総合評価	A
給食の供給事業	地元の産物を活用しながら、地域との連携を 大切にする。	地産地消により、新鮮で安心な食材を供給す るとともに、子供達に育った地域の季節感を伝 える。		地場産品を給食に用いることにより、地元の産業等に対 する興味、関心を高めるとともに、当地域の特産物を季節 毎に使用することで、季節感・旬の食材を覚える。さらに、 地域で生産された産物を使用することで、より新鮮で安全 安心な給食を供給するとともに、地域産業の活性化にもつ ながった。	
4－(5)		実績の評価	◎	総合評価	A

◎平成22年度教育委員会活動の状況

1)教育委員会委員名簿

平成22年3月15日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間
教育委員長	宮 本 佳 悦	(新) H18. 3. 16～H21. 3. 15 (再) H21. 3. 16～H25. 3. 15
教育委員長職務代行者	中 村 祐 子	(新) H18. 3. 16～H19. 3. 15 (再) H19. 3. 16～H23. 3. 15
委 員	赤 平 實	(新) H18. 3. 16～H22. 3. 15
委 員	山 田 義 雄	(新) H20. 4. 1～H24. 3. 31
教 育 長	角 濱 清 輝	(新) H18. 3. 16～H22. 3. 15

2)教育委員会委員名簿

平成23年3月15日現在

職 名	氏 名	任 期 期 間
教育委員長	境 久 孝	(新) H22. 4. 5～H26. 4. 4
教育委員長職務代行者	中 村 祐 子	(新) H18. 3. 16～H19. 3. 15 (再) H19. 3. 16～H23. 3. 15
委 員	佐 藤 俊 男	(新) H22. 4. 5～H26. 4. 4
委 員	宮 本 佳 悦	(新) H18. 3. 16～H21. 3. 15 (再) H21. 3. 16～H25. 3. 15
教 育 長	山 田 義 雄	(新) H20. 4. 1～H24. 3. 31

2)教育委員会会議の状況

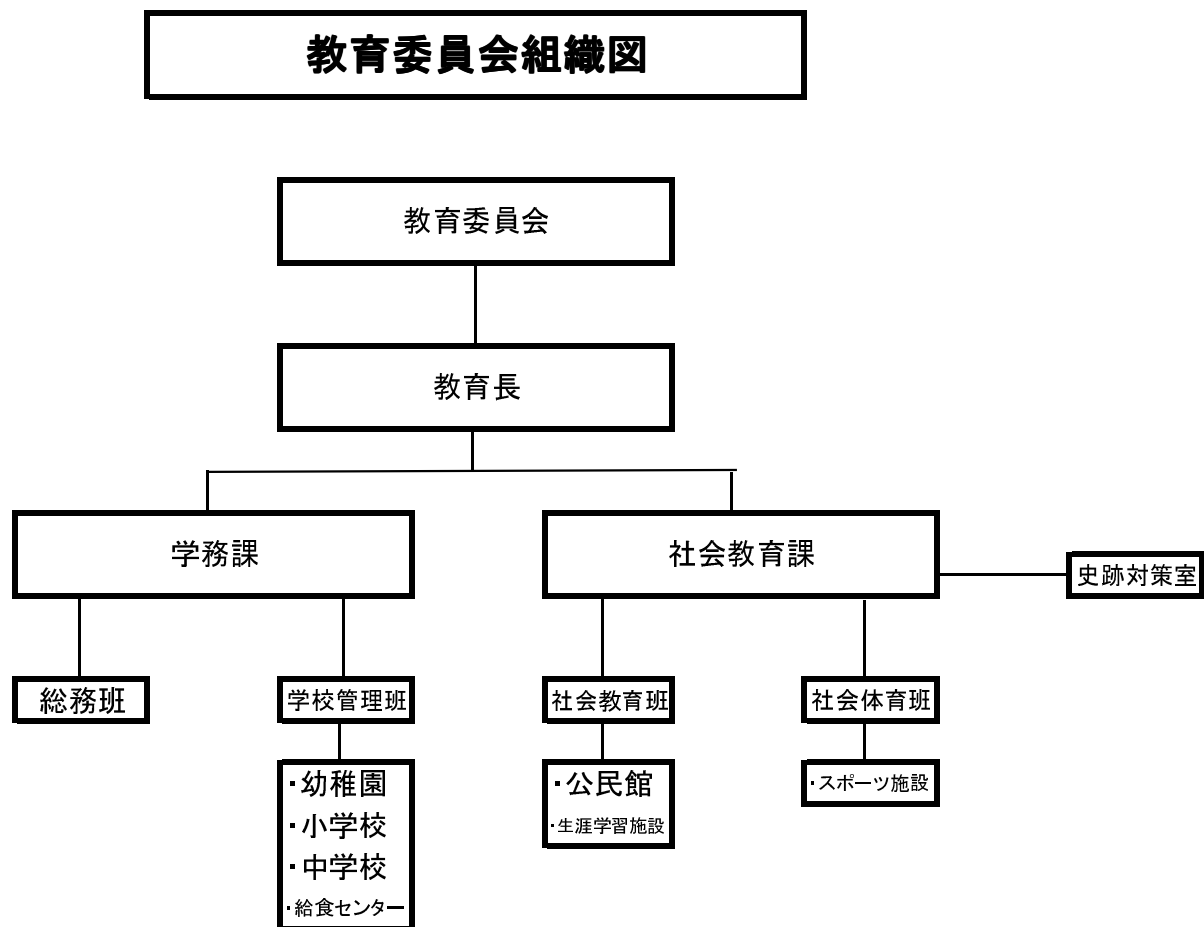
会議名	日時	場所	出席委員	会期	案件
第57回南部町教育委員会会議(臨時会)	H22.4.5 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	(1) 南部町教育委員会教育長の選任について (2) 南部町教育委員会委員の席次に決定について 協議事項 協議第1号 平成21年度南部町教育大会について
第58回南部町教育委員会会議定例会	H22.4.21 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告 報告第1号 区域外就学の承諾について 報告第2号 通学区域外就学の承諾について 議事 議案第1号 南部町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定
第59回南部町教育委員会会議定例会	H22.5.18 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告 報告第3号 平成22年度・要・準要保護児童生徒の認定(追加)について 報告第4号 南部町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 報告第5号 平成21年度南部町教育予算補正予算(3月専決処分)について 報告第6号 工事請負契約の締結について(剣吉小校舎耐震改修工事) 議事 議案第2号 平成22年度要・準要保護児童生徒の認定(新入学児童)について
第60回南部町教育委員会会議定例会	H22.6.15 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告 報告第7号 教育財産(ふくちアイスアリーナ等)の用途廃止について 報告第8号 南部町社会教育委員の委嘱について 報告第9号 南部町公民館運営審議会委員の委嘱 報告第10号 南部町体育指導委員の委嘱について 報告第11号 南部町文化財審議委員の委嘱について 報告第12号 平成22年度南部町教育予算補正予算(第1号)について 報告第13号 平成22年度要・準要保護児童生徒の認定(追加)について 報告第14号 通学区域外就学の承諾について 議事 議案第3号 南部町奨学基金の貸付について 議案第4号 南部町立幼稚園保育料等徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第5号 南部町私立幼稚園就園奨励費補助金交付規程の一部を改正する訓令の制定について
第61回南部町教育委員会会議定例会	H22.7.21 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告 報告第15号 区域外就学の承諾について 報告第16号 南部町公民館運営審議会委員(補充)の委嘱について 議事 議案第6号 南部町スポーツ指導員の委嘱について
第62回南部町教育委員会会議定例会	H22.8.18 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告 報告第17号 通学区域外就学の承諾について 報告第18号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について 報告第19号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について 報告第20号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定(継続)について 報告第21号 工事請負契約の締結について(福田小屋内運動場耐震改修工事) 報告第22号 工事請負契約の締結について(福地柱屋内運動場耐震改修工事) 議事 議案第7号 区域外就学の承諾について 議案第8号 南部町立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正する訓令の

第63回南部町 教育委員会会議 定例会	H22.9.15 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告	報告第23号 区域外就学の承諾について
						報告第24号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第25号 平成22年度南部町教育予算補正予算(第2号)について
						報告第26号 平成21年度南部町教育費関係決算認定について
第64回南部町 教育委員会会議 定例会	H22.10.21 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	議事	議案第9号 南部町立学校学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
						議案第10号 南部町文化賞・南部町スポーツ賞表彰審査会委員の委嘱について
						報告第27号 区域外就学の承諾について
						報告第28号 南部町立学校学校評議員の委嘱について
第65回南部町 教育委員会会議 定例会	H22.11.16 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告	報告第29号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第30号 区域外就学の承諾について
						報告第31号 教育財産(土地)の取得について
						報告第32号 平成22年度 南部町教育予算補正予算(第3号)について
第66回南部町 教育委員会会議 定例会	H22.12.15 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	議事	議案第13号 区域外就学の承諾について
						議案第14号 通学区域外就学の承諾について
						議案第15号 南部町立公民館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
						報告第33号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について
第67回南部町 教育委員会会議 定例会	H23.1.21 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告	報告第34号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第35号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について
						報告第36号 通学区域外就学の承諾について
						報告第37号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定解除について
第68回南部町 教育委員会会議 定例会	H23.2.24 pm3:00	南部分庁舎 3階第大会議室	5名	1日	報告	報告第38号 平成22年度要保護・準要保護児童生徒の認定(追加)について
						報告第39号 平成22年度南部町教育予算補正予算(第3号)について
						報告第40号 平成23年度南部町教育予算(当初)について
						報告第41号 平成23年度南部町教育費関係決算認定について
第69回南部町 教育委員会会議 定例会	H23.3.23 pm2:30	南部分庁舎 3階第大会議室	4名	1日	議事	議案第20号 南部町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定
						議案第21号 平成22年度南部町教育委員会の事務の点検及び評価報告書(平成21年度の実績)について
						議案第22号 平成23年度南部町教育方針について
						議案第23号 南部町教育大会について

3)その他の活動

月	日	活 動 ・ 行 事 名	場 所
4月	5日	第57回教育委員会議(臨時会)	南部分庁舎
	7日	小学校8校 中学校4校入学式	各小中学校
	8日	名川・南部幼稚園入園式	各幼稚園
	21日	第58回教育委員会議	南部分庁舎
	23日	南部町教育大会	町民ホール
	25日	うぐいすマラソン	ふくち運動公園
5月	3日	名久井岳県立自然公園山開き	名久井岳5合目
	6日	南部町連合PTA定期総会	アヴァンセふくち
	12日	三戸郡教育振興会教育長部会	郡町村会館
	18日	第59回教育委員会議	南部分庁舎
	20日	全国町村教育長会定期総会	東京目黒
	22日	福地小・杉沢小・中学校運動会	福地・杉沢小
	23日	向小学校運動会	向小学校
	25日	青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会	県総合学校教育センター
	28日	就学指導委員会	南部分庁舎
	30日	福田・剣吉・名久井・南部・名川南小学校運動会	福田・剣吉・名久井・南部・名川南小
6月	13日	三戸郡総合体育大会開会式	階上町
	15日	第60回教育委員会議	南部分庁舎
	19日	三戸郡中学校体育大会夏季大会	五戸町ひばりの公園運動場
7月	1日	三戸郡教育振興会総会・研修会	弘前・鯉ヶ沢
	21日	第61回教育委員会議	南部分庁舎
	22日	学務関係課長研修会	郡町村会館
	24日	歴史研究会定期総会	
	26日～28日	南部町小学生国内交流事業	山梨県南部町
	29日	中学生海外派遣研修生出発式	町民体育館
8月	1日	第55回北奥羽少年剣道大会	町民体育館
	5日	中学生海外派遣研修生帰町式	中央公民館
	18日	第62回教育委員会議	南部分庁舎
	20日	教育振興協議会幹事役員会	南部分庁舎
	21日	なんぶサマーフェスティバル	すみやの河川公園
	29日	福地中学校体育祭	福地中学校
9月	15日	第63回教育委員会議:学校訪問	南部分庁舎
	17日	郡教育振興会教育長部会	郡町村会館
	18日～19日	第58回三戸郡中学校体育大会秋季大会	
	26日	南部七唄七踊り全国大会	町民ホール
10月	1日	「国際音楽の日第6回南部町音楽祭」	町民ホール
	3日	名川幼稚園・南部幼稚園運動会	
	17日	第27回南部町学童野球大会	ふれあい運動公園多目的野球場
	21日	第64回教育委員会議:学校訪問	南部分庁舎
	22日	三戸郡教育振興会理事会	郡町村会館
	28日	三戸郡町村教育委員秋季研修会	南部分庁舎
	31日	南部町縦断駅伝	
11月	9日	三戸郡小・中学校教育研究会発表会	名川中学校
	10日	市町村教育委員会委員長・教育長合同会議	青森市
	16日	第65回教育委員会議:学校訪問	南部分庁舎
12月	15日	第66回教育委員会議	南部分庁舎
	17日	管内市町村教育委員会教育長・小中学校長会会長・教育事務所合同会議	合同庁舎
	20日	南部町文化賞及びスポーツ賞表彰審査会	南部公民館
	22日	南部七唄七踊り実行委員会	剣吉公民館
1月	6日	三八教育事務所教育長会議	八戸市
	21日	第67回教育委員会議	南部公民館
2月	7日	三戸郡教育振興会理事会	三戸郡町村会館
	24日	第68回教育委員会議	南部分庁舎
	24日	三戸郡教育振興会平成21年度定期総会	三戸郡町村会館
3月	8日	名川・南部中学校卒業式	各中学校
	9日	福地・杉沢中学校卒業式	各中学校
	17日	南部幼稚園卒園式	南部幼稚園
	18日	福田・向小卒業式	各小学校
	19日	福地・杉沢・剣吉・名久井・名川南・南部小学校卒業式	各小学校
	23日	第69回教育委員会議	南部分庁舎
	24日	名川幼稚園卒園式	名川幼稚園

◎教育委員会事務局の組織の状況



◎教育委員会事務局の活動の状況

部署名	室・班名	業務の内容
学 務 課	総 務 班	1.教育委員会の会議に関すること 2.教育委員会及び学校その他の教育機関の職員の任免 其他人事に関すること。 3.公印の保管に関すること。 4.文書の收受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。 5.教育予算の編成及び執行に関すること。 6.県費負担職員の任免其他人事に関すること。 7.学校その他の教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 8.教育財産の管理に関すること。 9.教育委員会規則等の制定又は改廃に関すること。 10.基幹統計及び教育に係る調査その他の統計に関すること。 11.県教育委員会その他の関係機関との連絡調整に関すること。 12.他の班の所掌に属しない事務に関すること。
	学校管理班	1.校舎その他の施設及び教具その他の設備の整備に 関すること。 2.学校施設台帳の整備保管に関すること。 3.教育内容及びその取扱いに関すること。 4.教科用図書の採択並びに給与に関すること。 5.学習効果の評価に関すること。 6.校長及び教員その他教育関係職員の研修に関すること。

学 務 課	学校管理班	7.校長及び教員その他教育関係職員並びに児童、生徒の安全厚生及び福利に関すること。 8.学校給食に関すること。 9.児童及び生徒の就学に関すること。 10.学校保健に関すること。 11.学校図書館に関すること。 12.義務教育費国庫負担事務に関すること。 13.学校の産業教育、理科教育及びへき地教育の振興に関すること。 14.幼稚園に関すること。 15.児童及び生徒の交流に関すること。 16.奨学金に関すること。 17.その他学校教育に関すること。
社会教育課	社会教育班	1.公民館その他社会教育機関の設置、管理及び廃止に関すること。 2.社会教育委員、公民館運営審議会及び文化財審議委員に関すること。 3.各種教室及び学級その他社会教育講座に関すること。 4.社会教育関係団体の指導育成に関すること。 5.社会教育資料の刊行及び配布並びに情報の交換、調査研究に関すること。 6.文化財の保護に関すること。 7.郷土芸能の伝承に関すること。 8.社会教育のために必要な設備、機材及び資料の提供に関すること。 9.ユネスコ活動に関すること。 10.コミュニティーに関すること。 11.ボランティアに関すること。 12.青少年教育に関すること。 13.青少年健全育成に関すること。 14.家庭教育に関すること。 15.婦人教育に関すること。 16.男女共同参画事業に関すること。 17.生涯学習推進事業に関すること。 18.文書の収受、発送、管理、保存及び廃棄に関すること。 19.その他社会教育に関すること。
	社会体育班	1.体育・スポーツの振興に関すること。 2.体育指導員に関すること。 3.体育関係団体の指導育成に関すること。 4.体育施設の管理運営及び整備に関すること。 5.運動公園の管理運営及び整備に関すること。 6.町民運動会に関すること。 7.スポーツ教室及びスポーツ大会に関すること。 8.その他社会体育に関すること。
史跡対策室		1.南部氏関連城館整備検討委員会に関すること。 2.南部氏史跡整備検討委員会に関すること。 3.国指定史跡「聖寿寺館跡」保存管理に関すること。 4.南部氏史跡の公有化に関すること。 5.南部氏史跡発掘調査に関すること。 6.南部氏史跡整備基本構想策定に関すること。 7.南部氏史跡整備及び活用に関すること。 8.南部氏史跡の周知に関すること。 9.南部氏の文献調査及び研究に関すること。 10.南部氏史跡対策室の経理事務に関すること。

◎教育施設の状況

施設区分	名称	所在地	備考
幼稚園	名川幼稚園	南部町大字下名久井字宗前17-7	0178-76-2916
	南部幼稚園	南部町大字相内字上野平45	0179-34-3119
小学校	福地小学校	南部町大字苦米地字寺ノ後15-1	0178-84-2213
	福田小学校	南部町大字福田字源次郎平7-1	0178-84-3610
	杉沢小学校	南部町大字杉沢字杉沢6-4	0178-84-3582
	剣吉小学校	南部町大字剣吉字大館10-1	0178-75-0009
	名久井小学校	南部町大字平字広場8	0178-76-2010
	名川南小学校	南部町大字鳥谷字太田3	0178-76-3173
	向小学校	南部町大字大向字飛鳥20-2	0179-22-2275
	南部小学校	南部町大字沖田面字久保10-1	0179-34-3102
中学校	福地中学校	南部町大字福田字板橋1-2	0178-84-2211
	杉沢中学校	南部町大字杉沢字木戸口27-1	0178-84-3583
	名川中学校	南部町大字下名久井字白山81	0178-76-2110
	南部中学校	南部町大字沖田面字沖中101	0179-34-3137
給食センター	学校給食センター	南部町大字上名久井字長尾下23-2	0178-76-2746
公民館 (生涯学習・余暇活動)	中央公民館	南部町大字平字広場36	0178-76-2323
	福地公民館	南部町大字苦米地字下宿22-1	0178-84-2111
	剣吉公民館	南部町大字剣吉字五合田29-1	0178-75-0797
	南部公民館	南部町大字沖田面字沖中51-2	0179-34-2800
	町民ホール (楽楽ホール)	南部町大字下名久井字白山81	0178-60-7180
	南部芸能伝承館	南部町大字斗賀字水間50	0178-75-0977
スポーツ施設	南部町民体育館	南部町大字沖田面字沖中80	0179-34-2761
	福地体育センター	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	名川B&G海洋センター	南部町大字平字広場28-1	0178-76-3310
	ふくち運動公園福地野球場	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	ふくち運動公園福地多目的広場	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	ふくち運動公園福地テニスコート	南部町大字福田字下平30	0178-84-4402
	ふくち運動公園福地弓道場	南部町大字福田字松ノ木10-1	0178-84-4402
	ふるさと運動公園多目的球技場	南部町大字下名久井字白山78	0178-76-3310
	ふるさと運動公園陸上競技場	南部町大字上名久井字長尾下55	0178-76-3310
	たいら運動公園平運動場	南部町大字平字小渋民45-9	0178-76-3310

◎教育関係予算の状況(決算)

(単位:千円)

款	項	目	19年度	20年度	21年度	22年度
教 育 費	教育総務費	教育委員会費	1,284	1,277	1,086	1,586
		事務局費	189,847	144,249	521,212	540,130
		小計	191,131	145,526	522,298	541,716
	小学校費	学校管理費	148,145	112,143	139,157	84,429
		教育振興費	19,664	25,960	24,325	23,614
		小計	167,809	138,103	163,482	108,043
	中学校費	学校管理費	69,137	57,974	91,825	53,091
		教育振興費	14,269	18,181	19,573	18,682
		小計	83,406	76,155	111,398	71,773
	幼稚園費	幼稚園管理費	64,394	63,911	62,292	46,653
		教育振興費	5,422	4,792	6,453	5,922
		小計	69,816	68,703	68,745	52,575
	社会教育費	社会教育総務費	102,070	86,948	88,852	83,077
		公民館費	26,025	23,398	121,588	34,207
		社会教育施設費	13,436	13,081	12,614	14,631
		文化財保護費	28,421	28,537	28,926	78,503
		小計	169,952	151,964	251,980	210,418
	保健体育費	保健体育総務費	61,805	67,964	72,579	69,375
		保健体育施設費	101,555	102,967	71,420	44,509
		保健体育施設整備費	120,210	171,780	145,346	26,155
		小計	283,570	342,711	289,345	140,039
	給食センター費	給食センター管理費	141,086	804,189	560,772	103,423
		小計	141,086	804,189	560,772	103,423
計			1,106,770	1,727,348	1,968,020	1,227,987
対前年比			1.00	1.56	1. 13	0. 62

◎南部町立小中学校児童生徒の状況

1. 児童生徒の学力(全国学力調査)

1) 小学校

※ 平成22年度の学力調査については、抽出調査方式と希望利用方式に切り替えて実施することとなったため、データの分析は不可能であります。

平成21年度については、小学校は全国平均を上回っているが、県平均よりは下回っています。

県教委は、小学校で全国平均を上回ったことについて、「家庭での学習習慣が身に付いている」と分析しています。

		全国	青森県	南部町	備考
通過率(%)	H19	290.4	303.2(4位)	302.5	
	H20	239.7	256.8(3位)	256.2	
	H21	253.9	268.3(3位)	260.5	
	H22	抽出調査方式による抽出のため分析不可能			

2) 中学校

※ 平成22年度の学力調査については、抽出調査方式と希望利用方式に切り替えて実施することとなったため、データの分析は不可能であります。

平成21年度については、全国平均及び県平均を上回る成績となっております。

県教育委員会では、「知識」に関する部分は概ね理解しているとしながらも、「活用」に関する問題には課題があり、「知識」や「技能」を活用する力を身に付けさせる必要があるとしています。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
通過率(%)	H19	288.2	291.9(14位)	298.2	
	H20	246.7	252.2(12位)	255.6	
	H21	271.1	274.8(20位)	280.0	
	H22	抽出調査方式による抽出のため分析不可能			

2. 児童生徒の生活の状況(全国学習調査)

平成22年度の学習調査については、抽出調査方式と希望利用方式に切り替えて実施することとなったため、データの分析は不可能であります。

家庭教育と社会教育が基礎学力向上のベースとなっております。
南部町の児童・生徒は調査の結果からも分かるように、よく頑張っておりますのでより一層の頑張りに期待します。

※表の数字は、調査の設問において、「している」と「どちらかと言えばしている」を「している」としての合計の数字です。

1) 小学校

1. 朝食を毎日食べていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
食べている (%)	H19	95. 2	95. 8	97. 8	
	H20	95. 4	96. 2	98. 5	
	H21	96. 0	96. 8	96. 2	

2. 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
あてはまる。 (%)	H19	72. 3	72. 5	69. 4	
	H20	72. 3	74. 0	73. 9	
	H21	74. 1	74. 9	79. 2	

3. 将来の夢や目標を持っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
持っている。 (%)	H19	83. 7	85. 4	86. 9	
	H20	84. 7	86. 6	88. 4	
	H21	86. 3	86. 9	84. 5	

4. 家の手伝いをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	78. 4	78. 0	79. 8	
	H20	77. 5	75. 7	78. 7	
	H21	78. 5	76. 9	86. 5	

5. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	—	—	—	調査無し
	H20	52. 0	50. 6	56. 6	
	H21	54. 7	54. 7	60. 8	

6. 家で学校の宿題をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	94. 7	95. 8	94. 5	
	H20	95. 2	95. 9	98. 1	
	H21	95. 5	96. 3	95. 6	

7. 家で学校の授業の予習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	32. 9	37. 6	33. 3	
	H20	35. 4	41. 2	50. 2	
	H21	37. 5	45. 4	46. 5	

8. 家で学校の授業の復習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	40. 1	57. 0	43. 7	
	H20	43. 4	60. 6	73. 9	
	H21	46. 0	65. 7	68. 1	

9. 学校のきまりを守っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
守っている。 (%)	H19	86. 2	88. 3	91. 8	
	H20	86. 3	89. 1	93. 2	
	H21	88. 5	90. 6	93. 8	

10. 人が困っているときは、進んで助けていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
助けている。 (%)	H19	76. 3	75. 9	74. 9	
	H20	77. 7	77. 1	76. 8	
	H21	78. 6	78. 7	81. 1	

11. 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	88. 6	85. 2	92. 3	
	H20	88. 7	86. 0	92. 8	
	H21	89. 4	86. 9	95. 7	

12. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H19	94. 7	95. 6	97. 3	
	H20	94. 7	95. 5	94. 2	
	H21	94. 9	95. 8	95. 6	

13. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H19	91. 9	93. 0	92. 4	
	H20	92. 4	93. 9	95. 2	
	H21	92. 5	93. 1	97. 1	

14. 国語の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	59. 6	60. 3	54. 7	
	H20	56. 1	56. 4	57. 9	
	H21	58. 3	59. 4	61. 8	

15. 読書は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	71. 3	72. 7	74. 3	
	H20	72. 3	74. 2	78. 2	
	H21	71. 8	72. 7	73. 4	

16. 算数の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	65. 0	67. 8	69. 9	
	H20	65. 4	70. 8	73. 9	
	H21	66. 2	69. 6	71. 9	

2) 中学校

単位 : %

1. 朝食を毎日食べていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
食べている (%)	H19	91. 6	93. 1	95. 5	
	H20	91. 9	93. 6	95. 2	
	H21	92. 4	94. 2	94. 8	

2. 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
あてはまる。 (%)	H19	62. 0	62. 9	63. 2	
	H20	61. 9	62. 6	68. 2	
	H21	62. 1	63. 6	73. 8	

3. 将来の夢や目標を持っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
持っている。 (%)	H19	70.7	74.5	70.7	
	H20	70.7	73.5	72.7	
	H21	71.0	74.4	80.7	

4. 家の手伝いをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	63.3	62.6	57.9	
	H20	60.6	58.0	59.0	
	H21	63.0	60.5	62.6	

5. 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	—	—	—	調査無し
	H20	34.2	32.1	35.3	
	H21	37.9	45.3	40.7	

6. 家で学校の宿題をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	80.2	83.4	91.7	
	H20	81.4	84.9	93.0	
	H21	83.0	87.5	94.9	

7. 家で学校の授業の予習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	29.5	23.7	9.8	
	H20	28.4	22.4	21.1	
	H21	29.5	24.5	33.0	

8. 家で学校の授業の復習をしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	39.2	46.4	33.8	
	H20	39.6	48.0	55.9	
	H21	40.5	50.7	59.2	

9. 学校の規則を守っていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
守っている。 (%)	H19	85.7	84.9	95.4	
	H20	87.4	86.9	93.8	
	H21	88.6	89.4	90.5	

10. 人が困っているときは、進んで助けていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
助けている。 (%)	H19	72. 4	71. 6	67. 6	
	H20	72. 7	72. 4	78. 0	
	H21	72. 2	72. 4	80. 2	

11. 近所の人に出会ったときは、あいさつをしていますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
している。 (%)	H19	82. 4	68. 9	76. 7	
	H20	82. 7	69. 2	83. 3	
	H21	83. 0	70. 3	82. 4	

12. いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H19	87. 9	88. 7	88. 7	
	H20	89. 5	90. 4	94. 3	
	H21	90. 3	91. 6	94. 0	

13. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
思う。 (%)	H19	89. 6	90. 1	84. 2	
	H20	90. 5	91. 2	94. 2	
	H21	90. 4	90. 4	94. 8	

14. 国語の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	56. 8	57. 1	55. 6	
	H20	55. 2	56. 4	59. 4	
	H21	56. 7	61. 8	62. 7	

15. 読書は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	67. 9	70. 1	63. 9	
	H20	69. 0	72. 6	66. 5	
	H21	67. 4	70. 8	65. 7	

16. 数学の勉強は好きですか。

		全国 (公立)	青森県 (公立)	南部町	備考
好き。 (%)	H19	51. 0	49. 2	35. 3	
	H20	52. 8	50. 5	54. 2	
	H21	52. 5	51. 9	55. 4	

3. 町立小中学校の「特色ある学校経営」事業の目的と実績

事業目的 教育委員会は、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童生徒を育成するため、学校経営に創意工夫をこらし、個を生かし創造性を育む学校教育の活発な活動を推進することを目的として、特色ある学校経営事業を当該年度の予算の範囲内において実施する。

(小学校)

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
福地小	学習環境整備事業	1) 命を守る体験活動の充実	・保健教育・安全教育の推進
		2) 体験活動の充実と学校生活の改善充実を図る。	・少年消防クラブ活動の推進
			・人権教育に関する研修支援
			・郷土および伝統文化理解の場の支援と設定
			・学級経営の充実のための、Q-Uの実施
福田小	意欲あふれる福田っ子の育成	1) 落ち着いて学習する児童の育成	・児童の実態をつかみ、適切な指導に役立てた。(Q-U学級満足度の活用)
			・読書が好きな子が増えた。(図書購入)
			・学習の記録を資料用として活用した。(デジタルカメラの活用)
		2) 働くことの尊さや植物を育て大切にすることを育む	・植物への水やりを通して勤労観を育てた。(ホースの購入)
杉沢小	豊かな心・自然やふるさとを大切に思う心・たくましい心の育み推進	1) 読書活動の推進	・朝読書と推薦図書の奨励
			・読み聞かせボランティアによる読書活動の充実
		2) 家庭・地域と連携した体験活動の推進	・学校農園、田んぼでの栽培活動の実施
			・自然体験活動の実施
			・体験活動のための物品整備
		3) 全校運動・外遊びの推進	・マラソン・なわとび・鉄棒・水泳の各がんばり週間の取り組み
			・外遊びの励行
		4) 環境の整備	・学校内樹木選定整備
			・心の癒やし花壇整備

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
剣吉小	児童の感性を磨き、伸ばすための体験活動及び環境づくり	1)行事および体験を取り入れた活動	・大豆づくり(3年生 剣吉小・名久井農高の交流活動)
			・そばづくり(4年生 剣吉小・名久井農高の交流活動)
			・稲づくりと収穫(5年生)祭
			・福祉体験活動
		2)環境美化活動	・花壇整備
			・各教室・相談室の整備
		3)各種活動	・文化的活動
			・スポーツ活動
名久井小	平成22年度名久井小学校特色ある学校経営事業	教育目標具現のための体験的活動への支援と環境整備の推進	・ふるさと学習
			・化学実験
			・マーチングでふるさと元気事業
			・エネルギー教育実践校
名川南小	地域の特性を生かした体験活動の推進	地域の自然・文化を取り入れた生活科や総合的な学習を推進することにより、地域の人材を積極的に活用して、子どもの豊かな人間性や社会性を育むとともに地域の人々が訪れる、地域に開かれた学校づくりを進める。	・米作り
			・生活科・総合的な学習の時間での体験活動
			・校内外環境整備
			・餅つき・そばうち会
			・俵積み歌、駒踊りの用具の整備
向小	一人一人を生かす学校づくり	1)児童の活動の活性化	・学校の宝物みがき
			・奉仕的活動(JRC活動、クリーン作戦、縦割り班清掃)
			・向タイムの充実
		2)ふるさと学習の充実	・地域の伝統芸能の継承活動(ナニヤドヤラの踊り)
			・総合的な学習
		3)環境整備の推進	・学校花壇の美化活動
			・学校内の環境美化
		4)校内研修の充実	・伝える力・聴く力を鍛え、主体的に学ぶ子どもの育成
			・現職教育の充実
南部小	豊かな心をはぐくむ体験活動や環境づくり活動	1)多くの自然、地域、人と関わる多様な体験活動を行うことにより、地域の良さに気づき、豊かな心を育成する。 2)めあてに向かって挑戦する学習や活動を設定し、学ぶ楽しさや喜びを味わわせ、主体的に行動する子どもを育成する。	・収穫感謝祭の実施、自然体験活動の充実
			・豊かな心を育てるための行動(読書活動の推進)
			(読み聞かせによるボランティア活動)
			・環境美化活動

(中学校)

学校名	事業内容		
	活動名称	事業のねらい	活動実績
福地中	「自ら学び自ら育つ生徒」、「規律正しく心豊かな生徒」の育成事業	地域の人材を活用し、地域の文化、自然環境等に触れさせながら、教育目標である「自ら学び自ら育つ生徒」、「規律正しく心豊かな生徒」の育成に努める。	・「教科」、「選択教科」、「総合的な学習」等への講師謝金
			・学習に必要な物品の購入費
			・体験活動連絡用経費
			・体験活動用車両借り上げ経費
			・花壇整備用原材料費
			・体験活動備品購入費
杉沢中	杉中生はぐくみプラン「広げ、深める学びの輪」	1)地域や関係機関との連携のもとに、健全な心をはぐくむ教育を推進し教育目標の達成に努める。 2)地域の文化・伝統に対する理解、思いを深めるとともに、郷土愛をはぐくみ地域の担い手となるしなやかな生徒の育成を図る。	・夢を育む活動
			・命を育む活動
			・友情と共生の心を育む活動
			・郷土・母校愛をはぐくむ活動
名川中	「平成22年度特色のある学校経営」	豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育する教育の推進。	・郷土理解学習(名川秋まつりへの参加、伝統芸能の伝承、郷土にゆかりのある方を招いての講演会、郷土料理の体験)
			・キャリア教育の一環としての体験活動(伝統芸能体験学習、職場体験学習、福祉体験学習、あかちゃん触れ合い体験)
			・ボランティア活動(剣吉駅の清掃、ユニセフ活動、福祉施設の訪問、名川町ボランティアスタッフ活動)
			・メディアスペースを活用した主体的な学習活動の推進
南部中	南中愛 ～進取～	人間性豊かな生徒を育成するため、個を生かし生きる力と夢を育むために、生徒会活動テーマのもと、「あいさつの活性化」・「積極的に諸問題に取り組む」・よいことを進んで認める」ことを重点項目とし、学校教育を推進。	・学習支援関係(選択教科講師派遣、総合学習)
			・JRC活動関係(校内外清掃、幼稚園・保育園訪問、老人ホーム訪問)
			・行事支援(文化祭・中体連・立志式)
			・校内環境整備
			・校舎内美化整備